

第1部 調査概要

1 調査の目的

- ① 第四次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画の基本理念に掲げる「自己肯定感・自己有用感・他者理解」について、児童生徒の実態を把握します。
- ② 子ども教育の連携に係るこれまでの取組が児童生徒にどのように受け止められているのかを把握するための資料とします。

自己肯定感…自分のよさや可能性に気付き、自分らしさを大切にすることができる
自己有用感…自分が他の人に役立っている、必要とされていると実感することができる
他者理解…他の人のよさを認め、大切にすることができる

2 調査の方法

- 【調査対象】 市内の小学校3年生から中学校3年生までの全児童生徒
【調査方法】 個人用タブレット端末を使った電子回答
【調査期間】 令和7年9月10日（水）から令和7年9月24日（水）まで

3 回答状況

調査対象		対象者数（人）	回答数（件）	回答率（%）
小学校	3年生	1,740	1,590	91.38%
	4年生	1,890	1,712	90.58%
	5年生	1,900	1,717	90.37%
	6年生	1,984	1,825	91.99%
	小学校計	7,514	6,844	91.08%
中学校	1年生	1,875	1,678	89.49%
	2年生	1,807	1,604	88.77%
	3年生	1,881	1,561	82.99%
	中学校計	5,563	4,843	87.06%
全体合計		13,077	11,687	89.37%

4 主な調査事項及び設問内容

- (1)～(12) 目指す「草加っ子」に関する設問
 - (13)～(15) 「ふるさと草加学習」に関する設問
 - (16) 子どもたちの夢や希望に関する設問
 - (17)～(19) 自己肯定感に関する設問
 - (20)～(22) 自己有用感に関する設問
 - (23)～(25) 他者理解に関する設問
 - (26) 人権教育に関する設問
 - (27)～(29) 交流・連携に関する設問
- ※ (26)は草加市学力学習状況調査から移設した設問です。
※ (29)は小学校5・6年生、中学校1年生を対象とした設問です。
※ (1)～(16)及び(26)～(29)は四つの選択肢から、(17)～(25)は五つの選択肢から「自分の考えに一番近いもの」を一つ選んで回答する設問です。

【設問内容】

設問	質問文	頁
(1)	勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。	18
(2)	勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。	19
(3)	学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。	20
(4)	自分の気持ちや考えを、相手に伝えるようにしている。	21
(5)	いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。	22
(6)	人に迷惑をかけないように、やりたいことでも、がまんできる。	23
(7)	あいさつや返事をしっかりとするようにしている。	24
(8)	学校のきまりや、家の約束を守ることができる。	25
(9)	ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。	26
(10)	決められた時間を守ることができる。	27
(11)	めあてや目標をもって学習や運動に取り組んでいる。	28
(12)	すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	29
(13)	授業などを通して、草加について学ぶことは楽しい。	30
(14)	草加のまちが好きだ。	31
(15)	自分が住む地域や、草加の役に立つことをしてみたい。	32
(16)	なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。	33
(17)	自分には、よいところ(長所)があると思う。	34
(18)	自分のことを大切だと思う。	35
(19)	自分には好きなところがある。	36
(20)	難しいことでも、努力を続ければ、いつかできると思う。	37
(21)	周りの人が喜ぶことをしたいと思う。	38
(22)	人の手助けをすることがある。	39
(23)	他の人にもよいところがあると思う。	40
(24)	自分とはちがう考え方や性格を、受け入れることは大切であると思う。	41
(25)	他の人のよさを大切にしている。	42
(26)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。	43
(27)	(小3～小6) 中学生や園児と交流することは、楽しみだ。 (中1～中3) 小学生や園児と交流することは、楽しみだ。	44
(28)	(小3～小4) 中学生や園児と交流してみたい。 (小5～小6) 中学生になったら、小学生や園児と交流してみたい。 (中1～中3) 小学生や園児と交流してみたい。	45
(29)	(小5～小6) 中学校へ進学することは楽しみだ。 (中1) 小学校6年生のとき、中学校へ進学することが楽しみだった。	46

5 調査結果の表記について

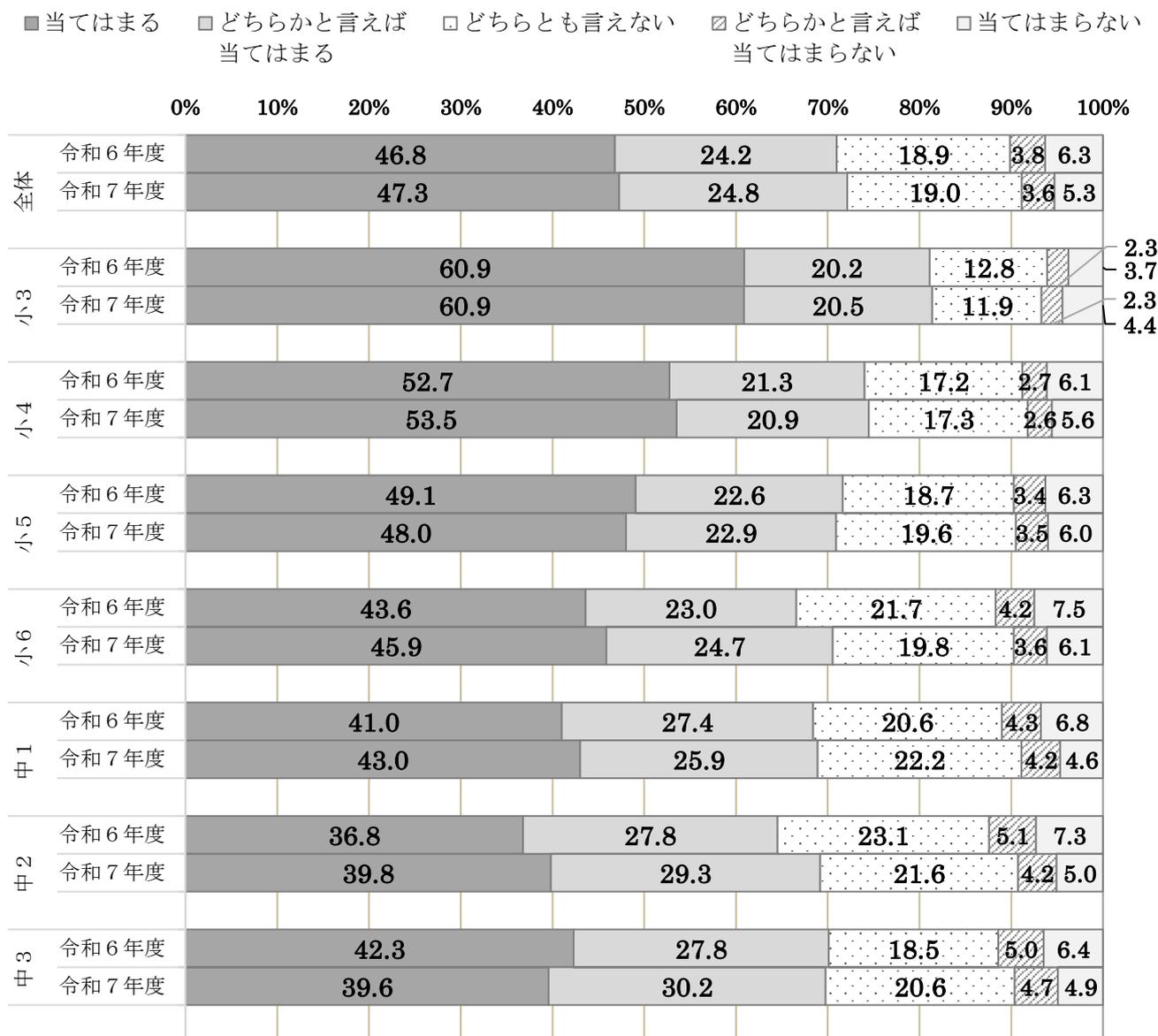
- (1) 集計結果の回答率(%)は、小数第二位を四捨五入しています。そのため、各選択肢の回答率の合計が100.0%にならないことがあります。
- (2) 質問文及び選択肢が長い場合、一部省略して表記しています。
- (3) 全ての質問において、令和6・7年度の2カ年の結果を掲載しています。

6 結果の概要と分析

(1) 自己肯定感、自己有用感及び他者理解

自己肯定感に関する設問(17)～(19)、自己有用感に関する設問(20)～(22)、他者理解に関する設問(23)～(25)の回答結果を、それぞれ単純集計しました。

① 自己肯定感

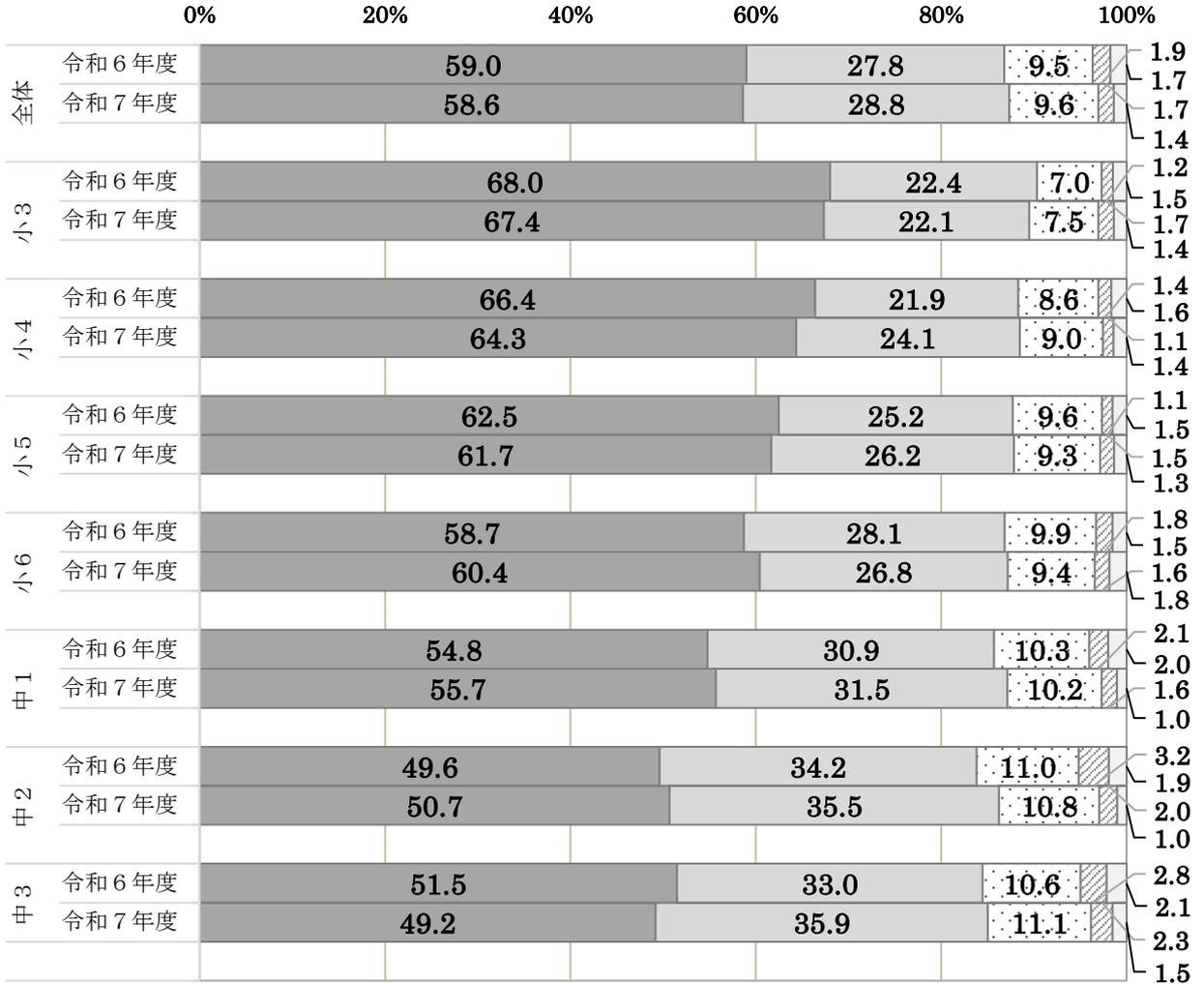


※ 右枠外の数値は、上から「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」の順に表示しています。

- 全体では、肯定的な回答は72.1%（前年度比+1.1ポイント）、否定的な回答は8.9%（前年度比-1.2ポイント）でした。
- 小学校3年生の肯定的な回答は81.4%であり、全学年を通して最も高い数値でした。
- 学年別では、小学校6年生、中学校2年生の肯定的な回答が、それぞれ前年度比で4.0ポイント、4.5ポイントと大きく増加しました。
- 自分のよさを自覚し、自分のことを大切に思っている児童生徒が多いことがわかります。

② 自己有用感

■当てはまる □どちらかと言えば □どちらとも言えない □どちらかと言えば □当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない

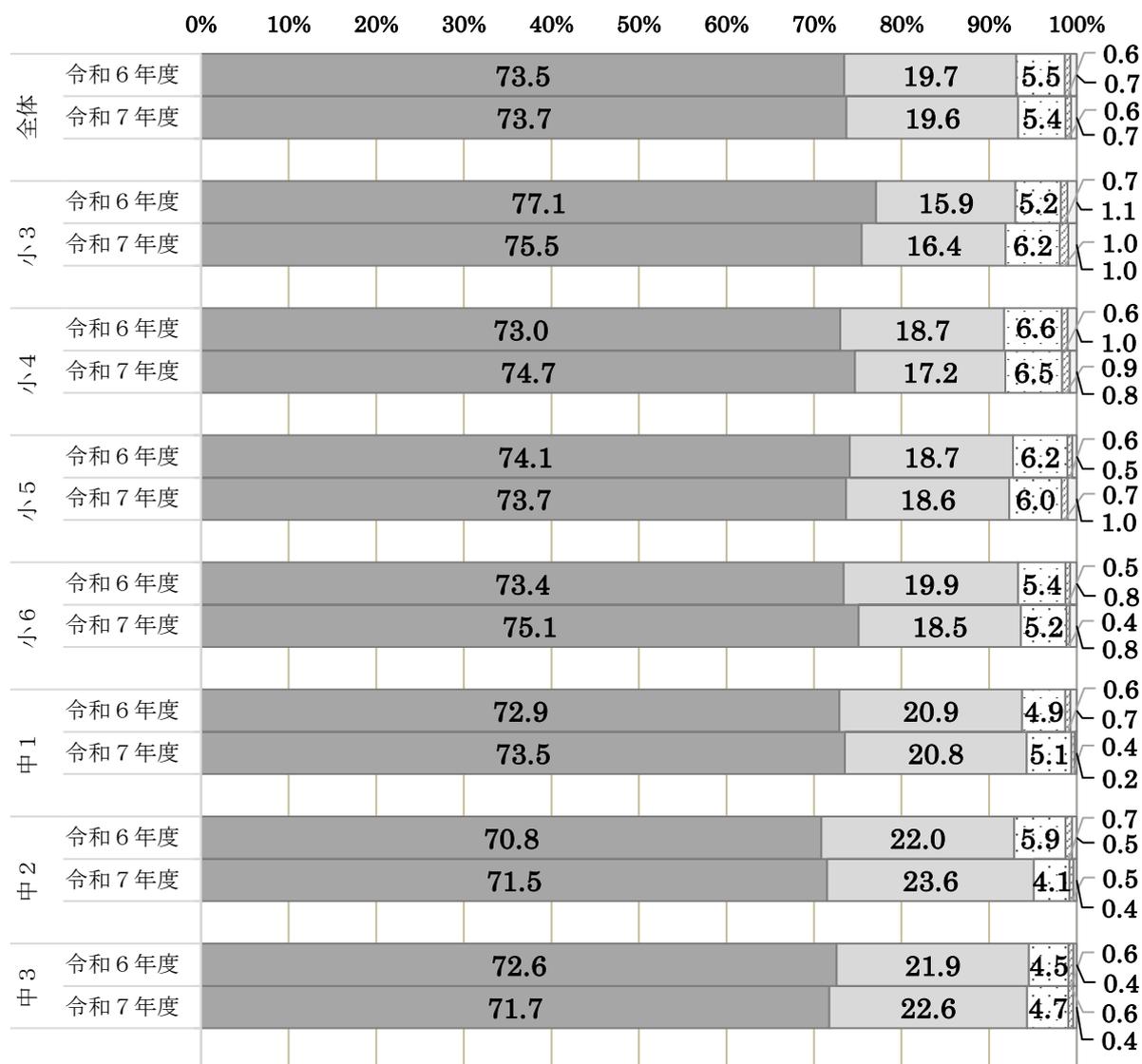


※ 右枠外の数値は、上から「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」の順に表示しています。

- 全体では、肯定的な回答は87.4%（前年度比+0.6ポイント）、否定的な回答は3.1%（前年度比-0.5ポイント）でした。
- 全学年において、肯定的な回答が85%を超えました。
- 学年別では、中学校1、2年生の肯定的な回答が、それぞれ前年度比で1.5ポイント、2.4ポイント増加しました。
- 全体的に、「周りの人が喜ぶことをしたい」、「周囲の手助けをしている」と実感している児童生徒が多いと考えられます。

③ 他者理解

■ 当てはまる □ どちらかと言えば □ どちらとも言えない ▨ どちらかと言えば □ 当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない



※ 右枠外の数値は、上から「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」の順に表示しています。

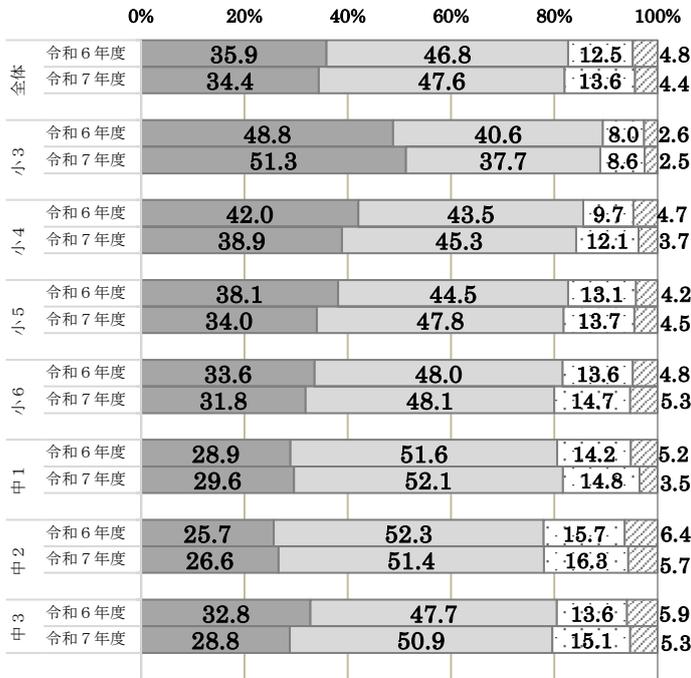
- 全体では、肯定的な回答は93.3%（前年度比+0.1ポイント）、否定的な回答は1.3%（前年度比±0ポイント）でした。
- 全学年において、「当てはまる」の割合が7割を超える高い数値となっています。
- 中学校2年生の肯定的な回答は95.1%であり、全学年を通して最も高い数値でした。
- 全体的に、他の人のよさを認め、自分とは異なる考え方や性格を受け入れることの大切さを理解している児童生徒が多いと考えられます。

(2) 目指す「草加っ子」

① 自ら学ぶ力

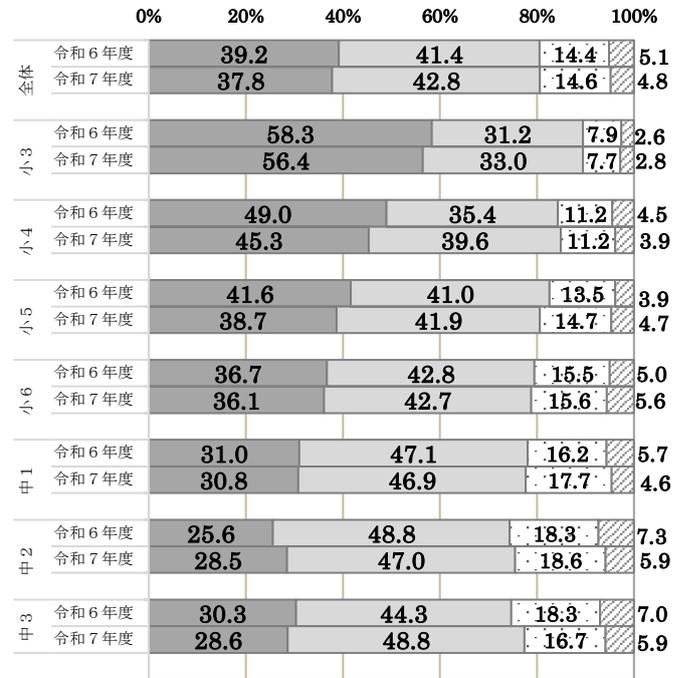
勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。

■当てはまる □どちらかと言えば どちらかと言えば □当てはまらない
当てはまる 当てはまらない



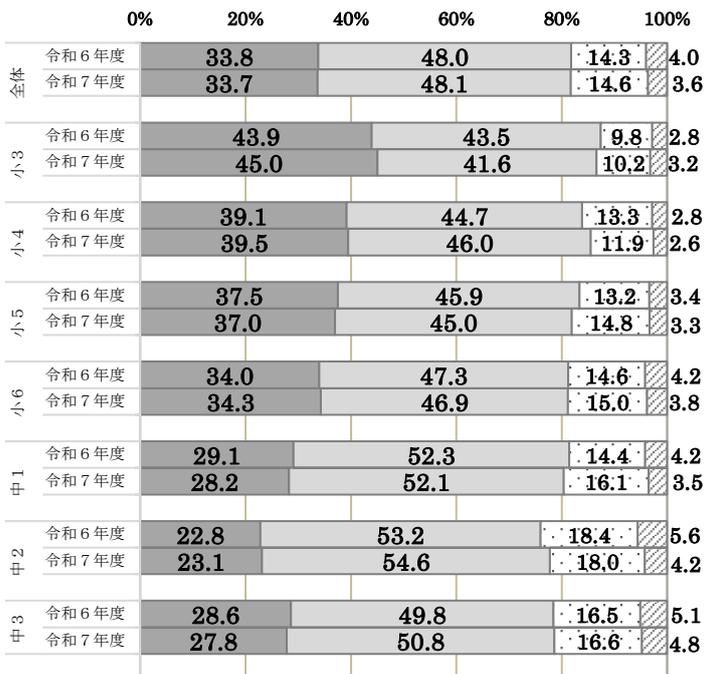
勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

■当てはまる □どちらかと言えば どちらかと言えば □当てはまらない
当てはまる 当てはまらない



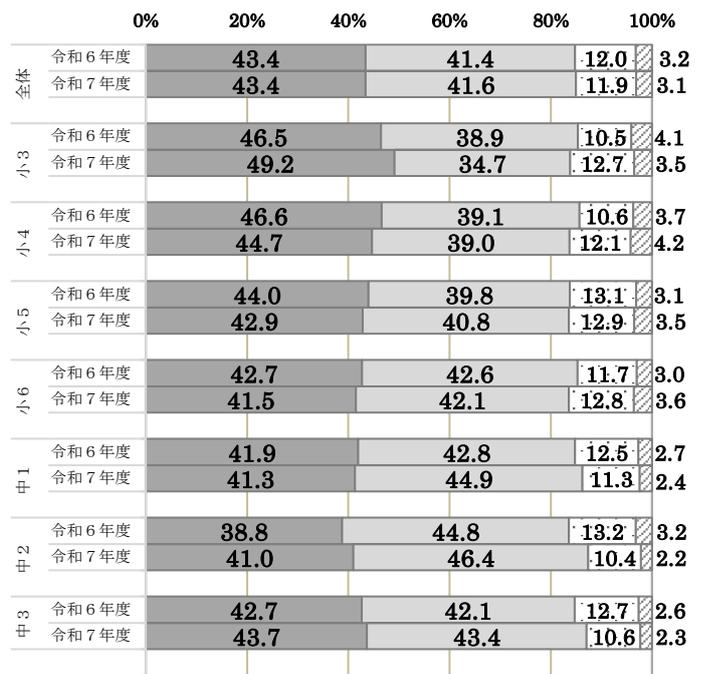
学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

■当てはまる □どちらかと言えば どちらかと言えば □当てはまらない
当てはまる 当てはまらない



自分の気持ちや考えを、相手に伝えるようにしている。

■当てはまる □どちらかと言えば どちらかと言えば □当てはまらない
当てはまる 当てはまらない

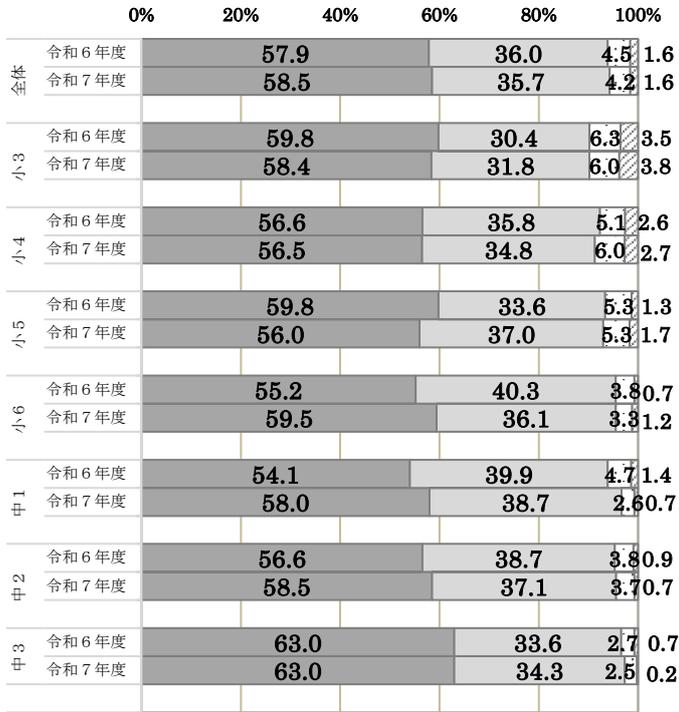


- 全体では、「自ら学ぶ力」に関するすべての質問で、肯定的な回答が8割を超えました。
- 「自分の気持ちや考えを、相手に伝えるようにしている」と回答した児童生徒は、全学年で83%を超えました。児童生徒が考え、表現することを大切にした授業が増えていると考えられます。

② 豊かな心

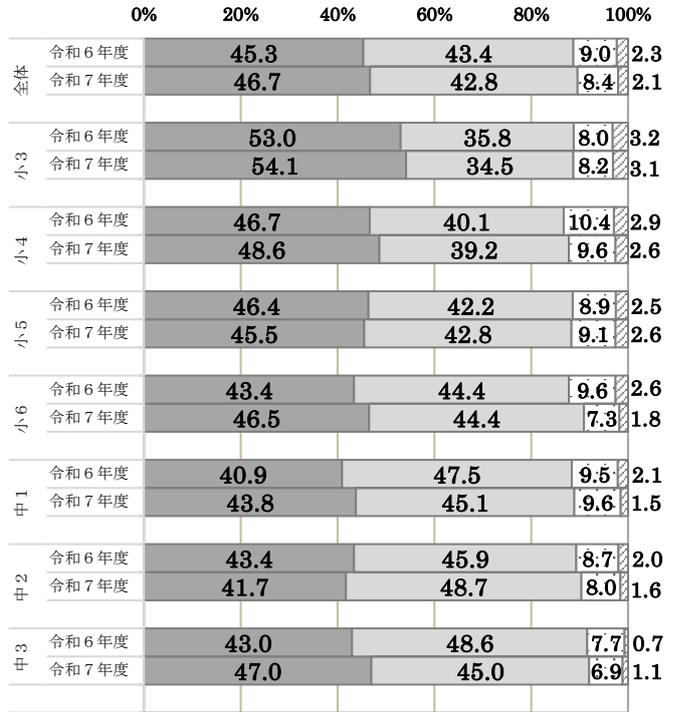
いじめを許さず、思いやりをもって人と接するようにする。

■当てはまる □どちらかと言えば 当てはまる □どちらかと言えば 当てはまらない



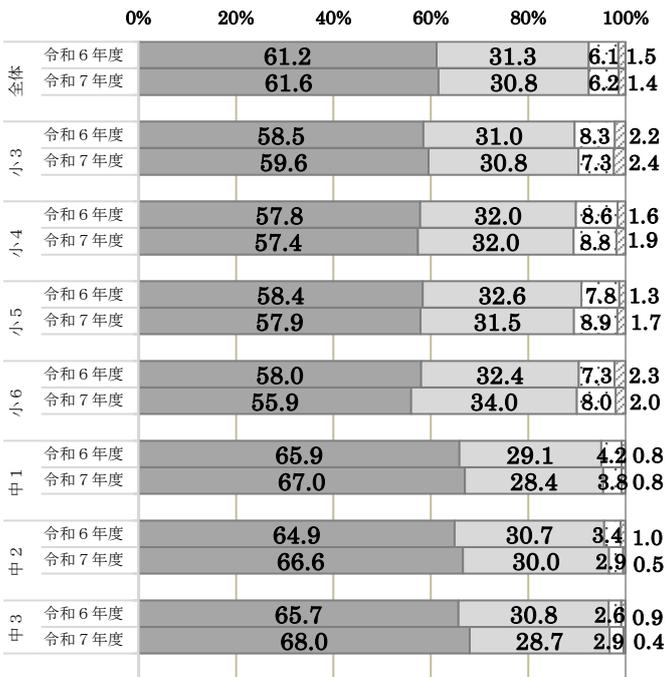
人に迷惑をかけないように、やりたいことも、がまんできる。

■当てはまる □どちらかと言えば 当てはまる □どちらかと言えば 当てはまらない



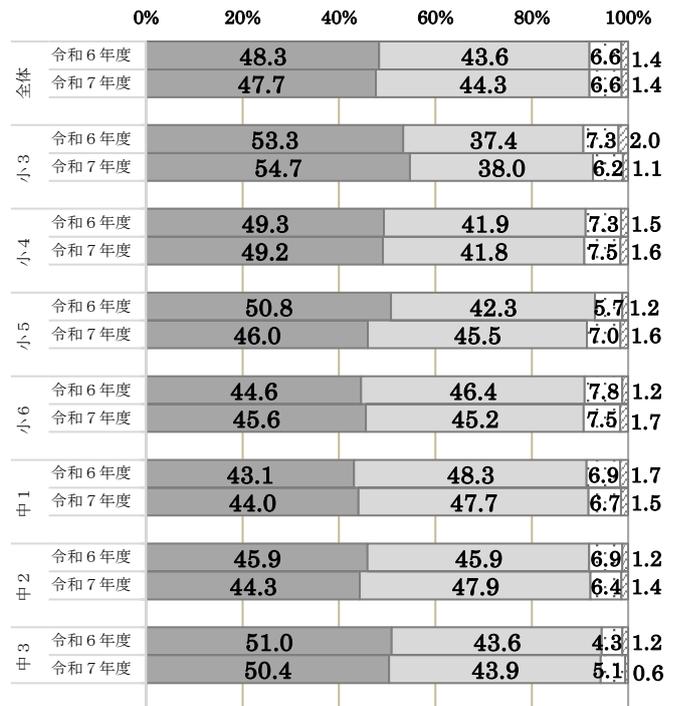
あいさつや返事をしっかりとるようにしている。

■当てはまる □どちらかと言えば 当てはまる □どちらかと言えば 当てはまらない



学校のきまりや、家の約束を守ることができる。

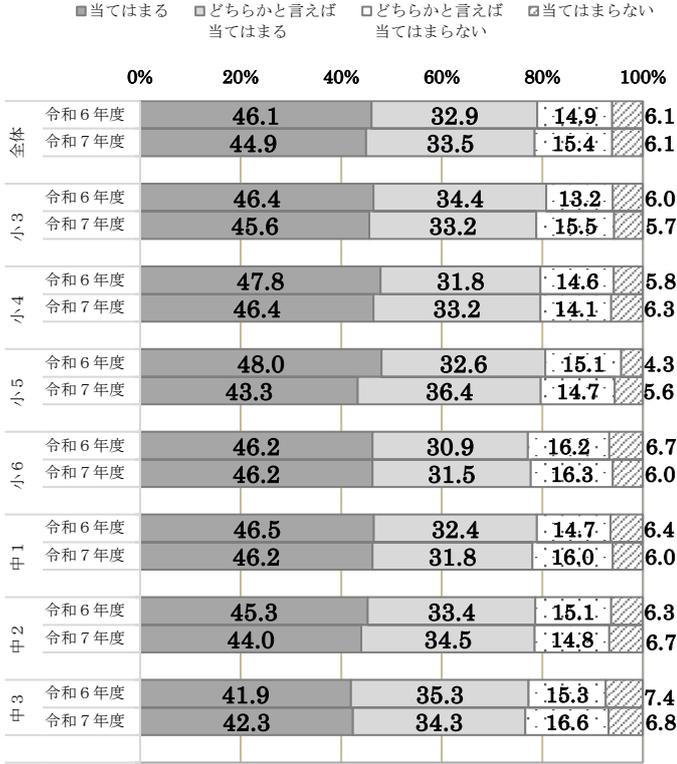
■当てはまる □どちらかと言えば 当てはまる □どちらかと言えば 当てはまらない



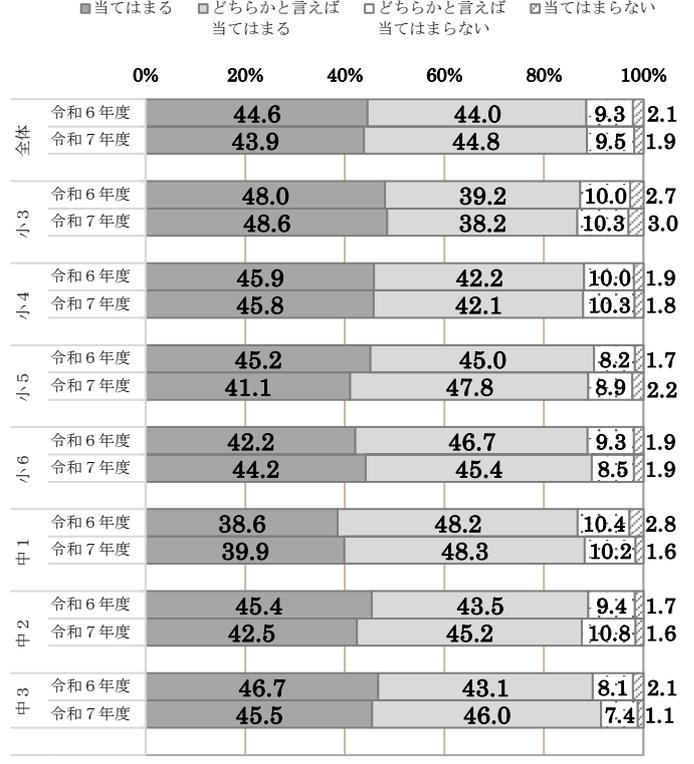
- 全体では、「豊かな心」に関するすべての質問で、約9割の児童生徒が肯定的な回答をしました。
- 「いじめを許さず、思いやりをもって人と接するようにする」の肯定的な回答は、小学校6年生以上の全学年で95%を超えました。
- 中学校3年生では、すべての質問において肯定的な回答がどの学年よりも多くなっています。学年が上がるにつれて、人との接し方や社会で必要となる力が児童生徒に育まれていると考えられます。

③ たくましく生きる力

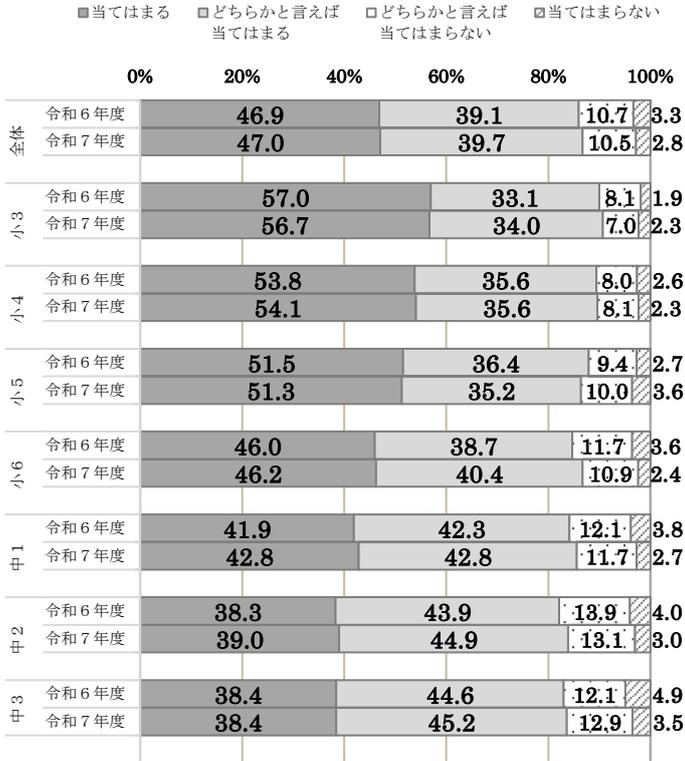
ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。



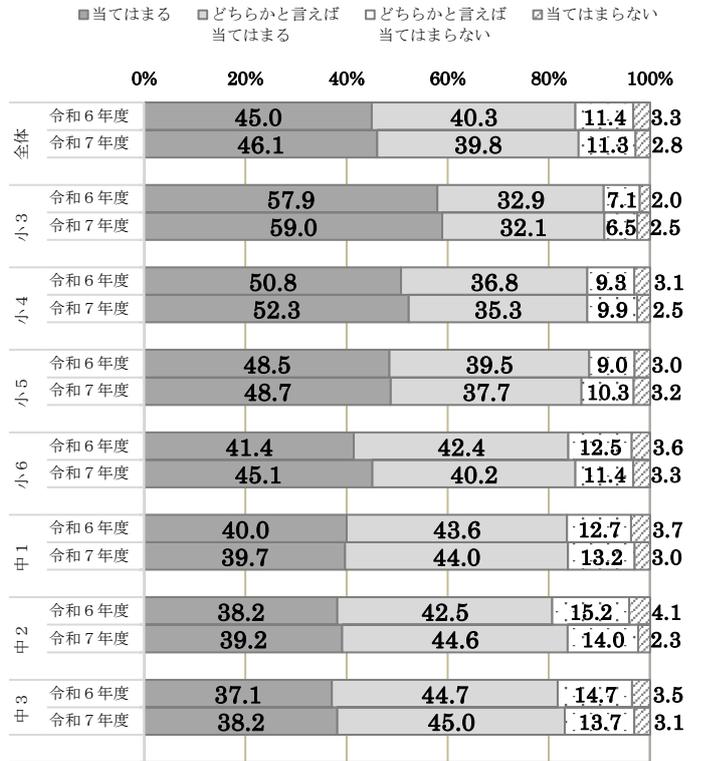
決められた時間を守ることができる。



めあてや目標をもって学習や運動に取り組んでいる。



すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。

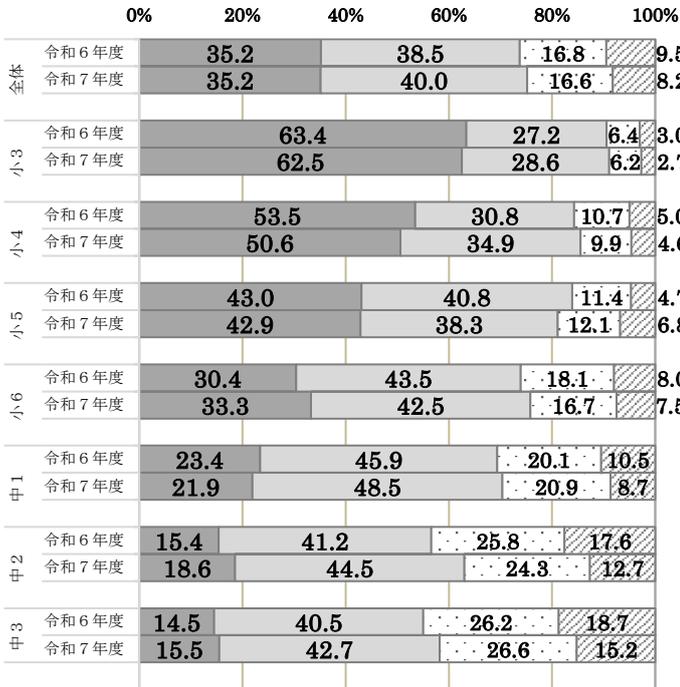


- 全体では、「たくましく生きる力」に関する質問のうち、「時間を守る」、「めあてや目標をもって取り組む」、「あきらめずにものごとに取り組む」で、肯定的な回答が85%を超えました。
- めあてや目標をもって学習や運動に取り組んだり、あきらめずにものごとに取り組んだりする児童生徒の割合は、小学校5年生を除く全ての学年で前年度から増加しました。

(3) ふるさと草加学習

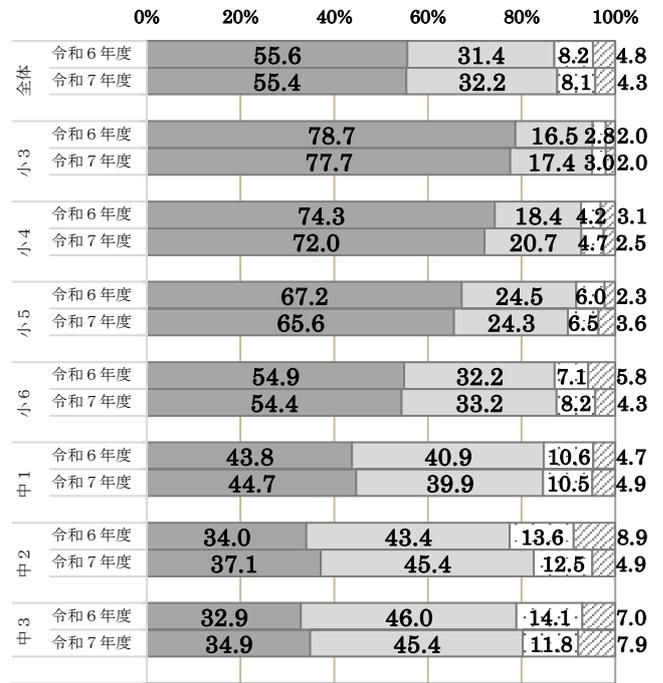
授業などを通して、草加について学ぶことは楽しい。

■当てはまる □どちらかと言えば どちらかと言えば □当てはまらない
当てはまる 当てはまらない



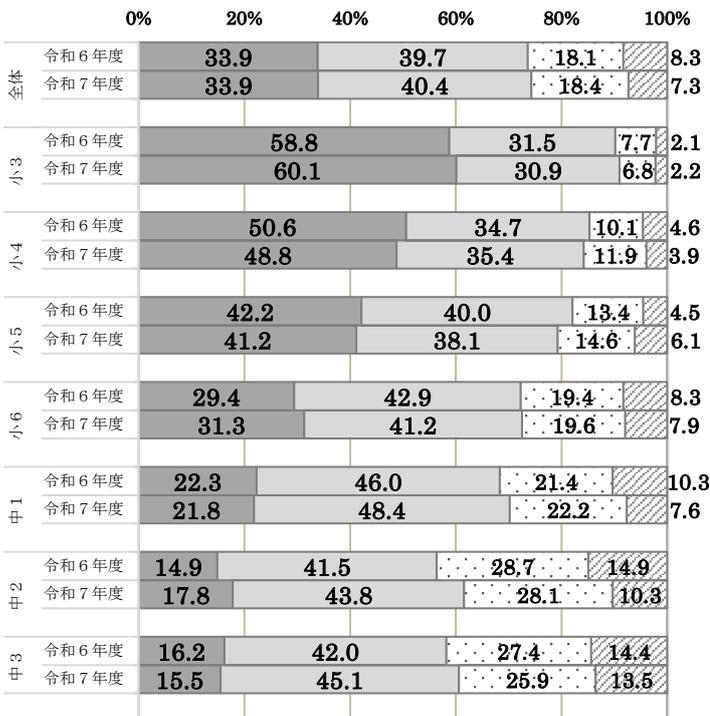
草加のまちが好きだ。

■当てはまる □どちらかと言えば どちらかと言えば □当てはまらない
当てはまる 当てはまらない



自分が住む地域や、草加の役に立つことをしてみたい。

■当てはまる □どちらかと言えば どちらかと言えば □当てはまらない
当てはまる 当てはまらない



- 全体では、「草加について学ぶことは楽しい」では75.2%（前年度比+1.5ポイント）、「草加の役に立つことをしてみたい」では74.3%（前年度比+0.7ポイント）と、肯定的な回答が7割を超えていました。
- 「草加のまちが好きだ」の肯定的な回答は、87.6%（前年度比+0.6ポイント）でした。

7 調査のまとめ

- (1) 回答結果から、児童生徒の自己肯定感・自己有用感は着実に育まれていることが分かりました。また、他者理解に関する結果からは、多くの児童生徒が他の人のよさに気づき、認めようとしていることが分かりました。

児童生徒が、自分らしさの中にあるよさに気付くとともに、誰もがかけがえのない大切な存在であることを実感できるよう、幼保小中を一貫した教育を通して一人ひとりの考えや個性を認め、つないでいくことが重要です。

- (2) 目指す「草加っ子」に関する設問では、多くの項目で高い数値を維持していました。学ぶ楽しさを実感できるよう、児童生徒が課題を自分事と捉え主体的に学ぶ授業展開や、教科等で学んだことを総合的に活用できる場を設定していくことが大切です。

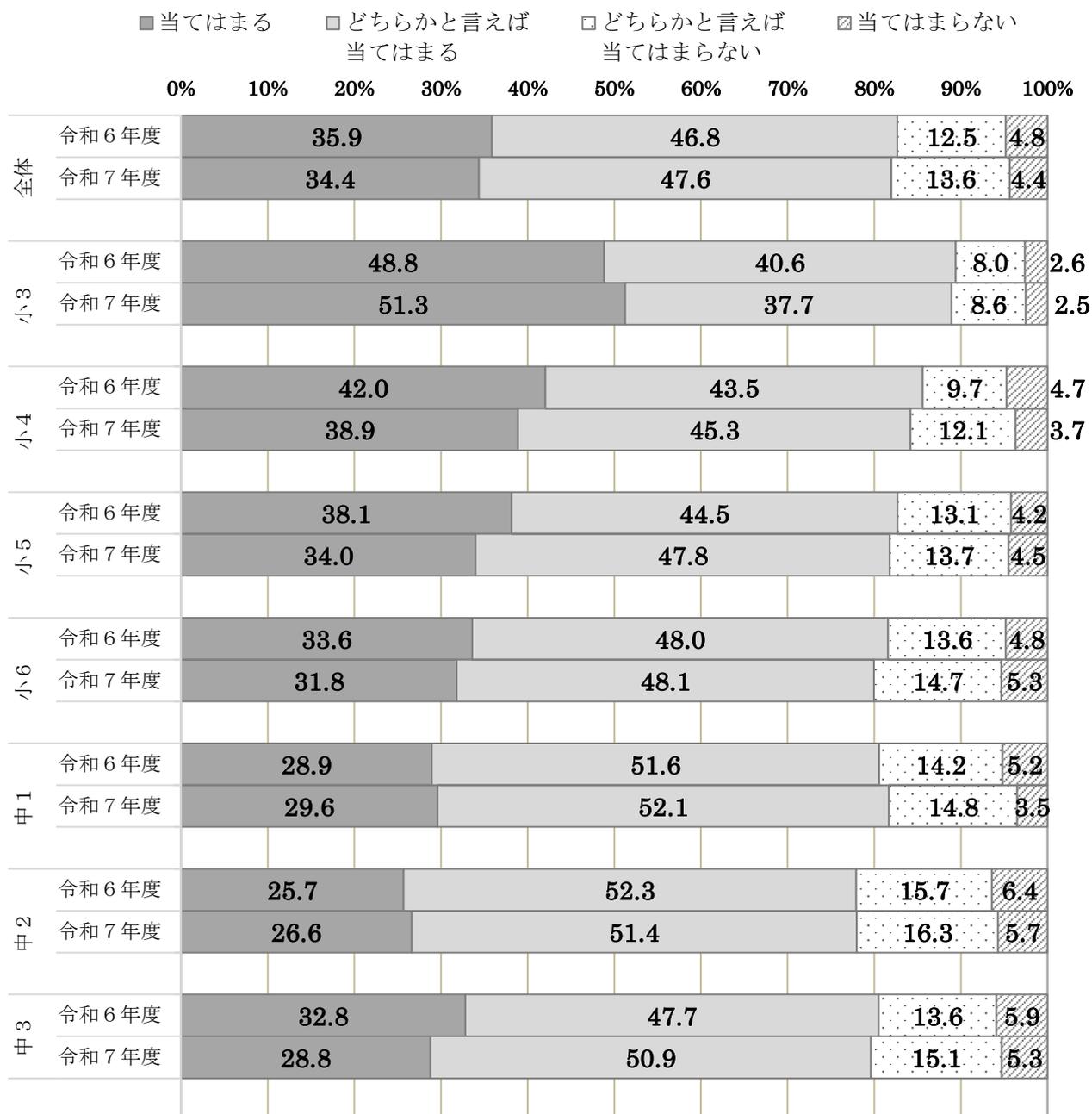
また、「早寝早起き朝ごはん」については、家庭への働きかけを通して、連携・協力体制を築いていくことが重要です。

- (3) ふるさと草加学習については、多くの児童生徒が草加のまちを好きだと感じていることが分かりました。より多くの児童生徒が草加について学ぶ楽しさを実感するとともに、地域に貢献したいという思いを持てるよう、体験や地域の人とのかかわりを大切にしながら、児童生徒の興味・関心や疑問等に基づいた探究的な学習を充実させていくことが重要です。

第2部 調査結果

1 各設問の調査結果

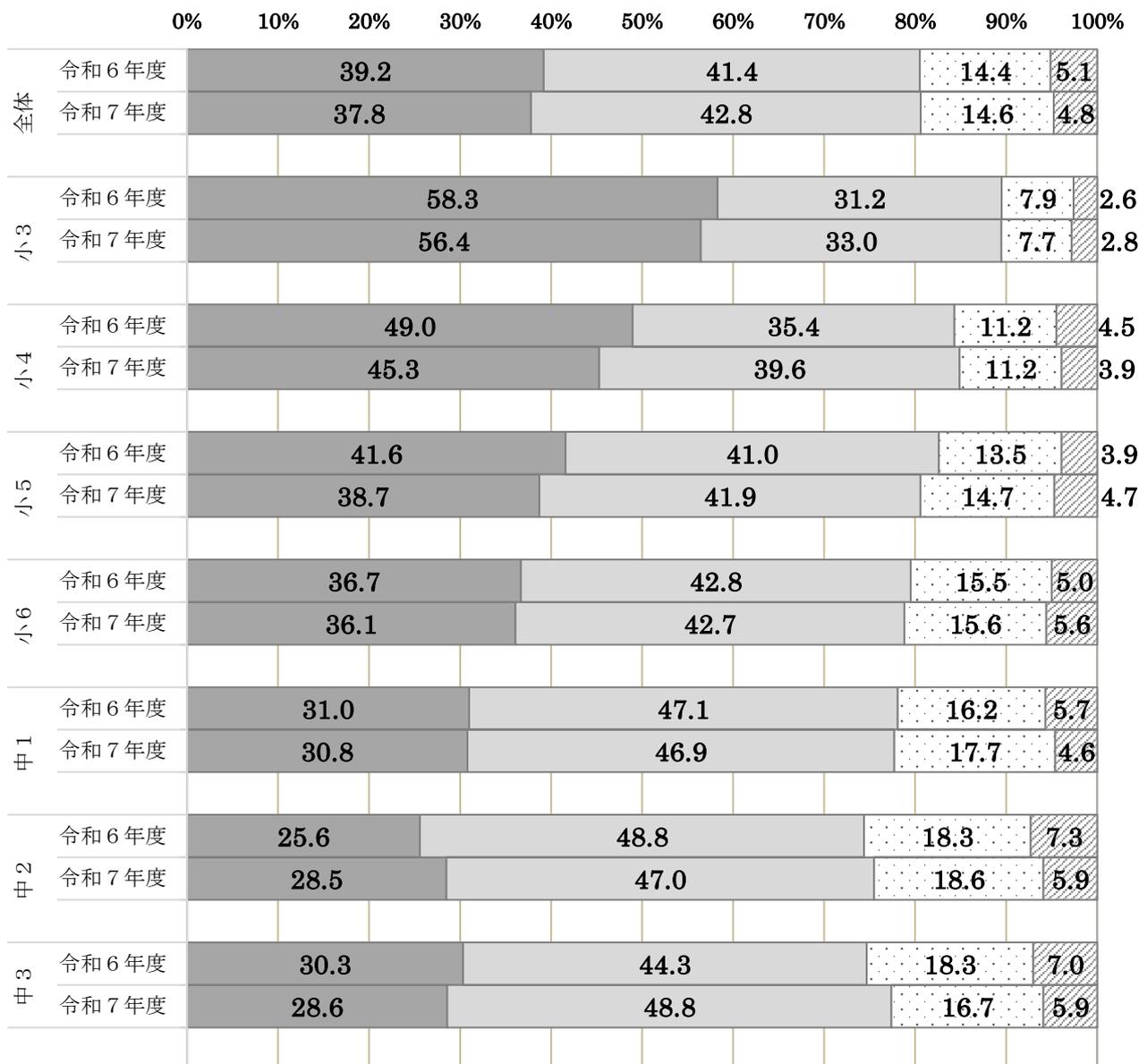
(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。



- 全体の肯定的な回答の割合は、82.0%（前年度比-0.7ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、18.0%（前年度比+0.7ポイント）でした。
- 全学年で、肯定的な回答の割合が75%を超えました。

(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

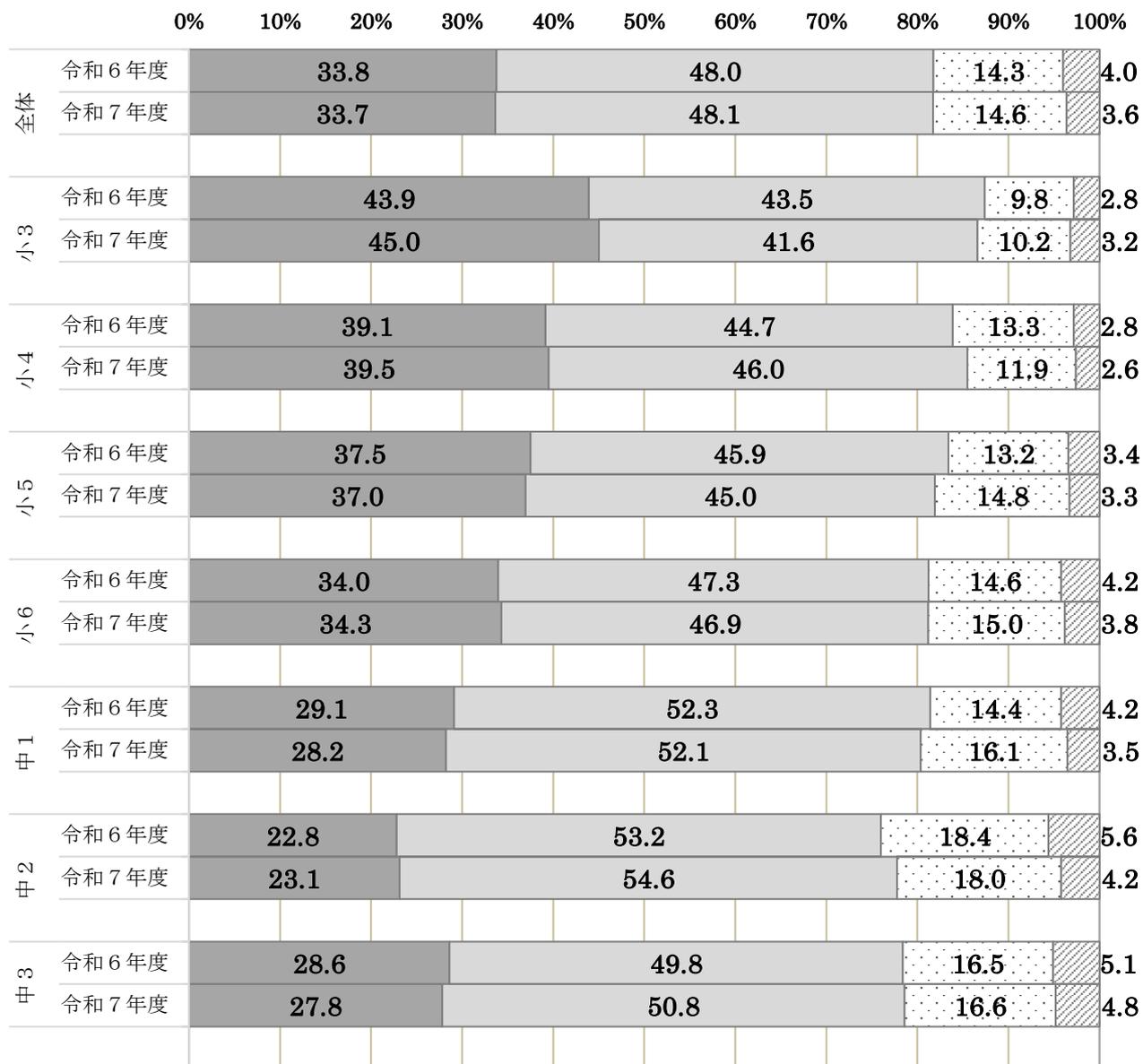
当てはまる
 どちらかと言えば当てはまる
 どちらかと言えば当てはまらない
 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、80.6%（前年度比±0ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、19.4%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- 中学校3年生では、肯定的な回答の割合が2.8ポイント増加しました。

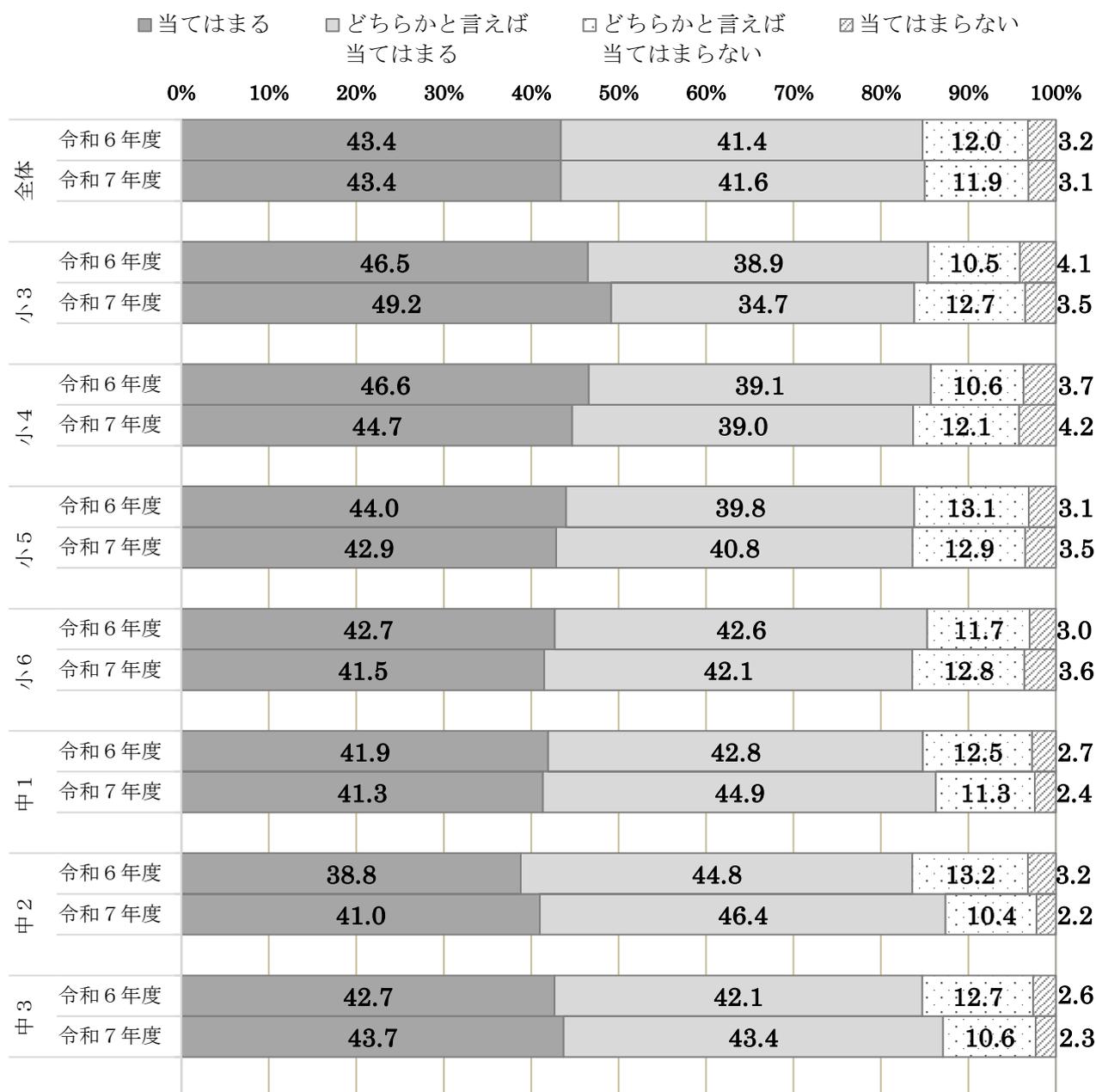
(3) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

■当てはまる □どちらかと言えば 当てはまる □どちらかと言えば 当てはまらない ▨当てはまらない



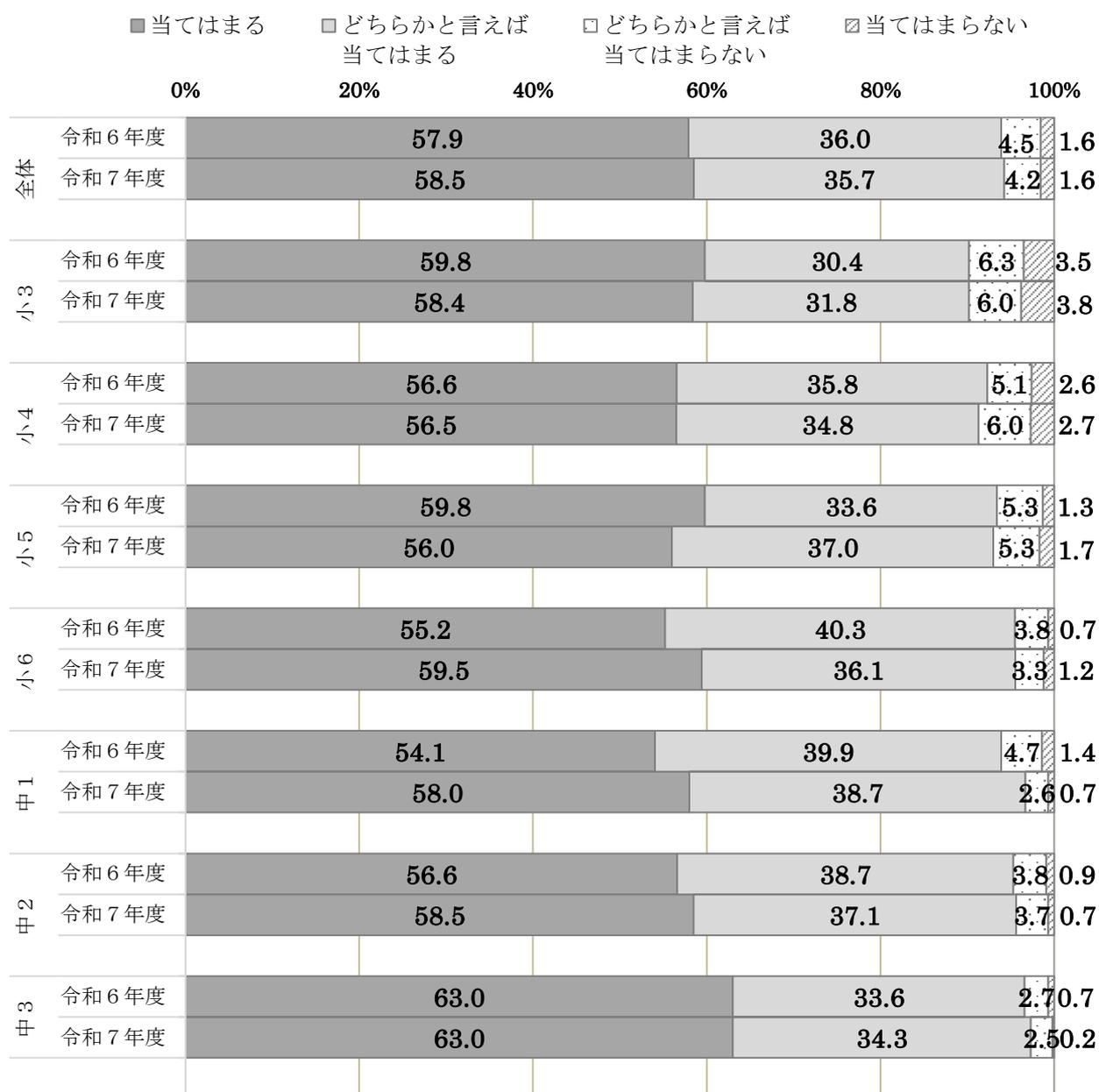
- 全体の肯定的な回答の割合は、81.8%（前年度比±0ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、18.2%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- ほとんどの学年で、肯定的な回答の割合が80%を超えました。

(4) 自分の気持ちや考えを、相手に伝えるようにしている。



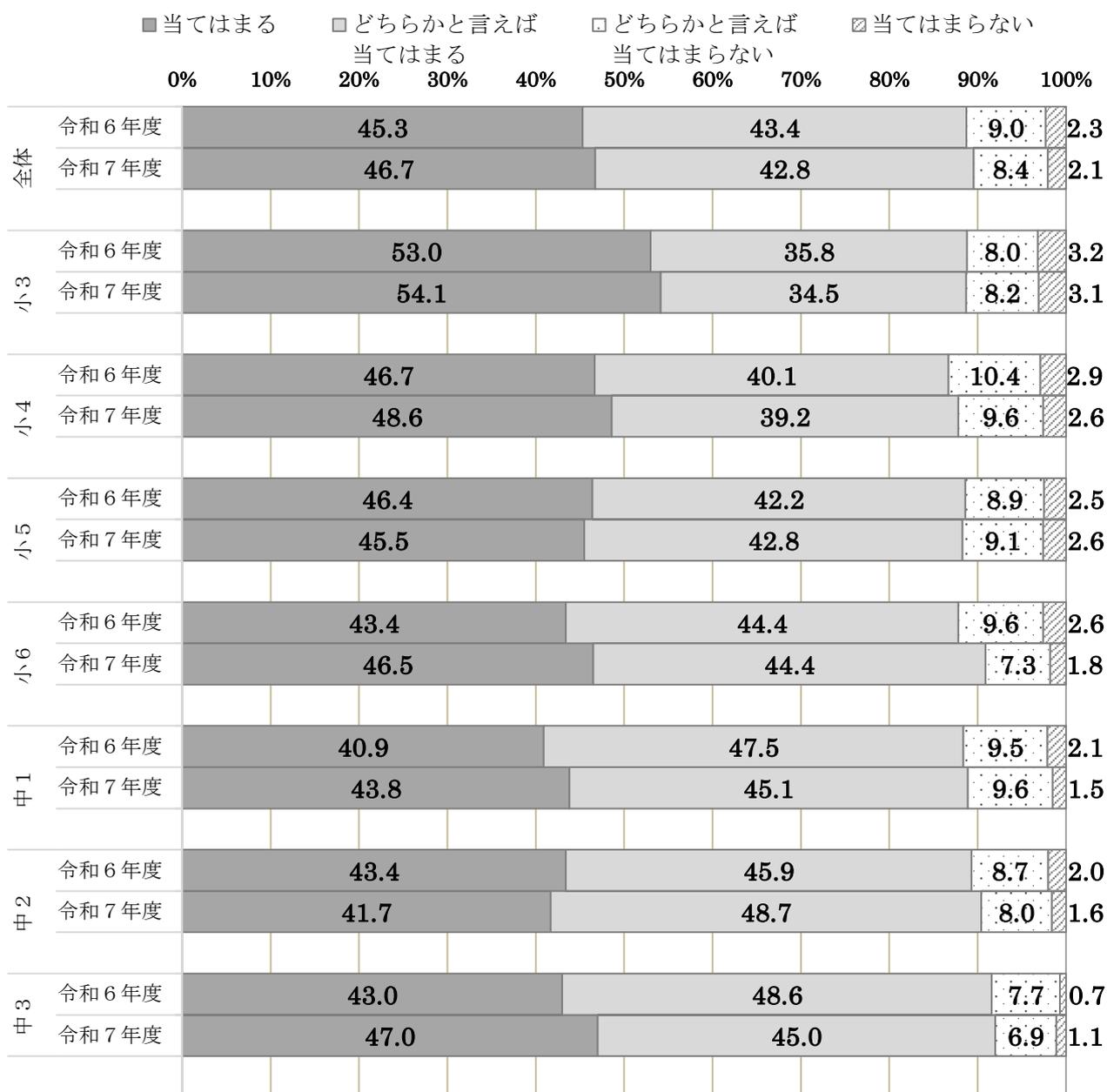
- 全体の肯定的な回答の割合は、85.0%（前年度比+0.2ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、15.0%（前年度比-0.2ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が、3.8ポイント増加しました。

(5) いじめを許さず、思いやりをもって人と接するようにする。



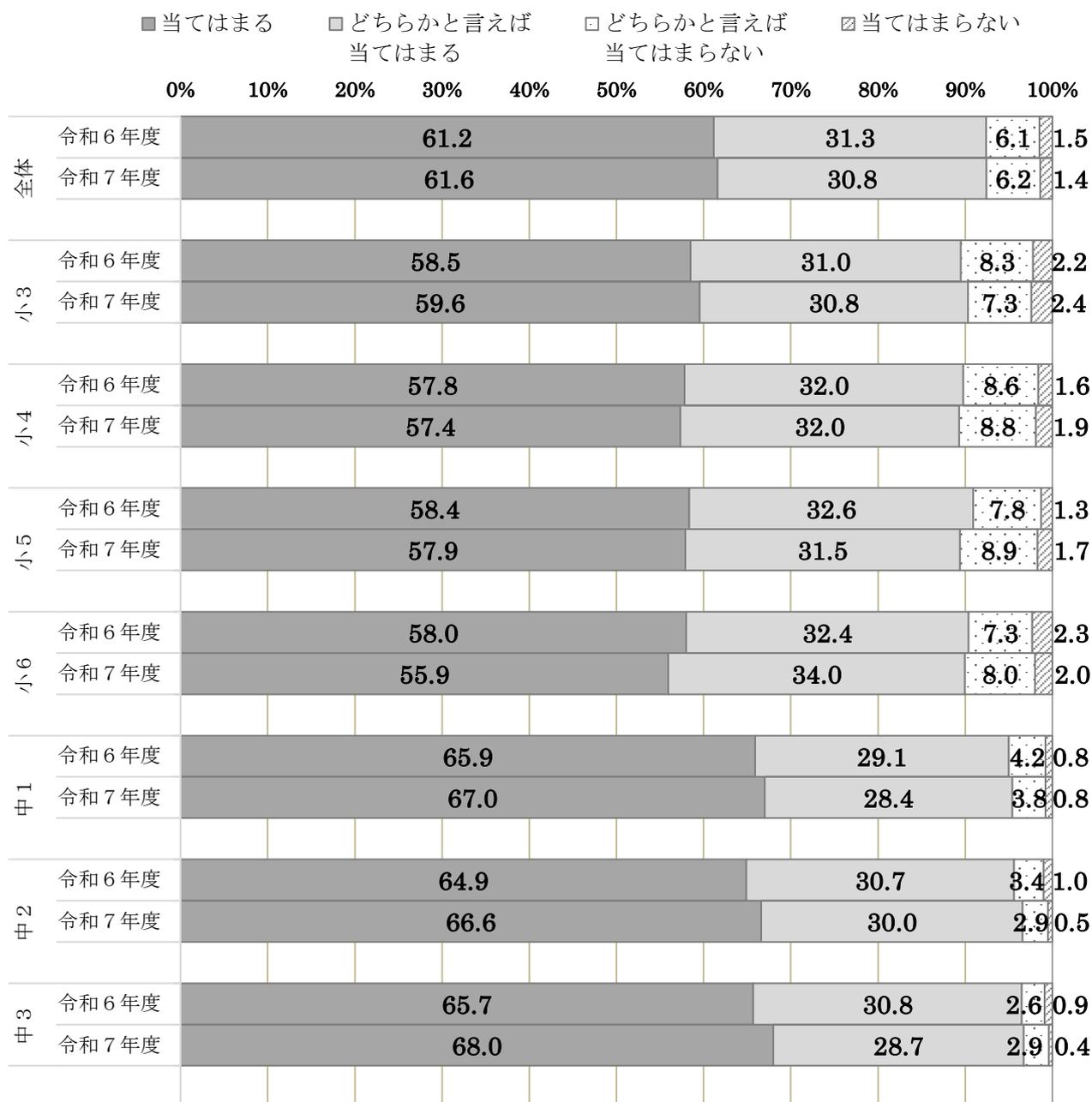
- 全体の肯定的な回答の割合は、94.2%（前年度比+0.3ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、5.8%（前年度比-0.3ポイント）でした。
- 昨年度に引き続き、全学年で肯定的な回答の割合が90%を超えており、全体的に高い水準を保っていました。

(6) 人に迷惑をかけないように、やりたいことも、がまんできる。



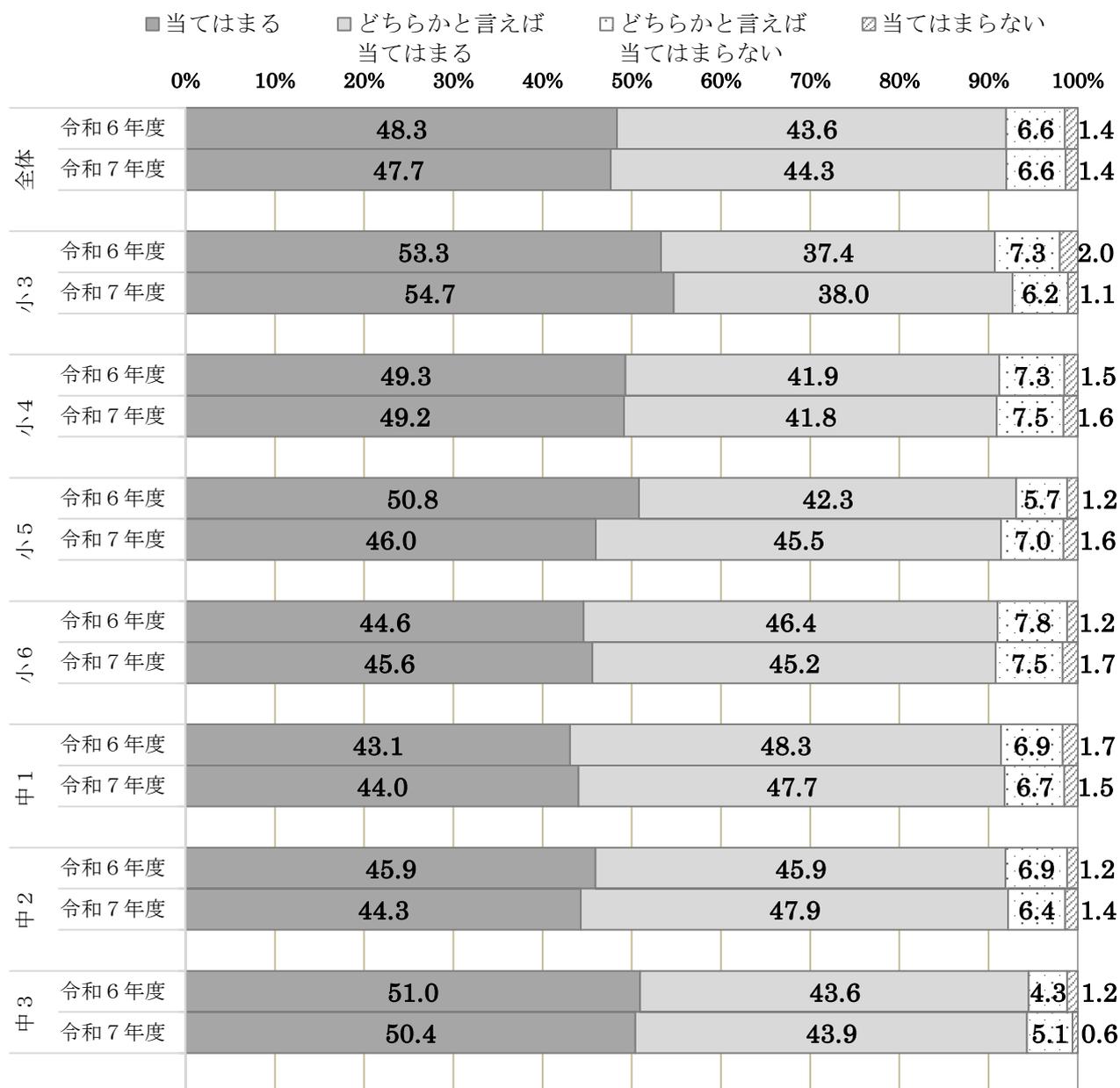
- 全体の肯定的な回答の割合は、89.5%（前年度比+0.8ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、10.5%（前年度比-0.8ポイント）でした。
- 小学校6年生では、肯定的な回答の割合が3.1ポイント増加しました。

(7) あいさつや返事をしっかりとるようにしている。



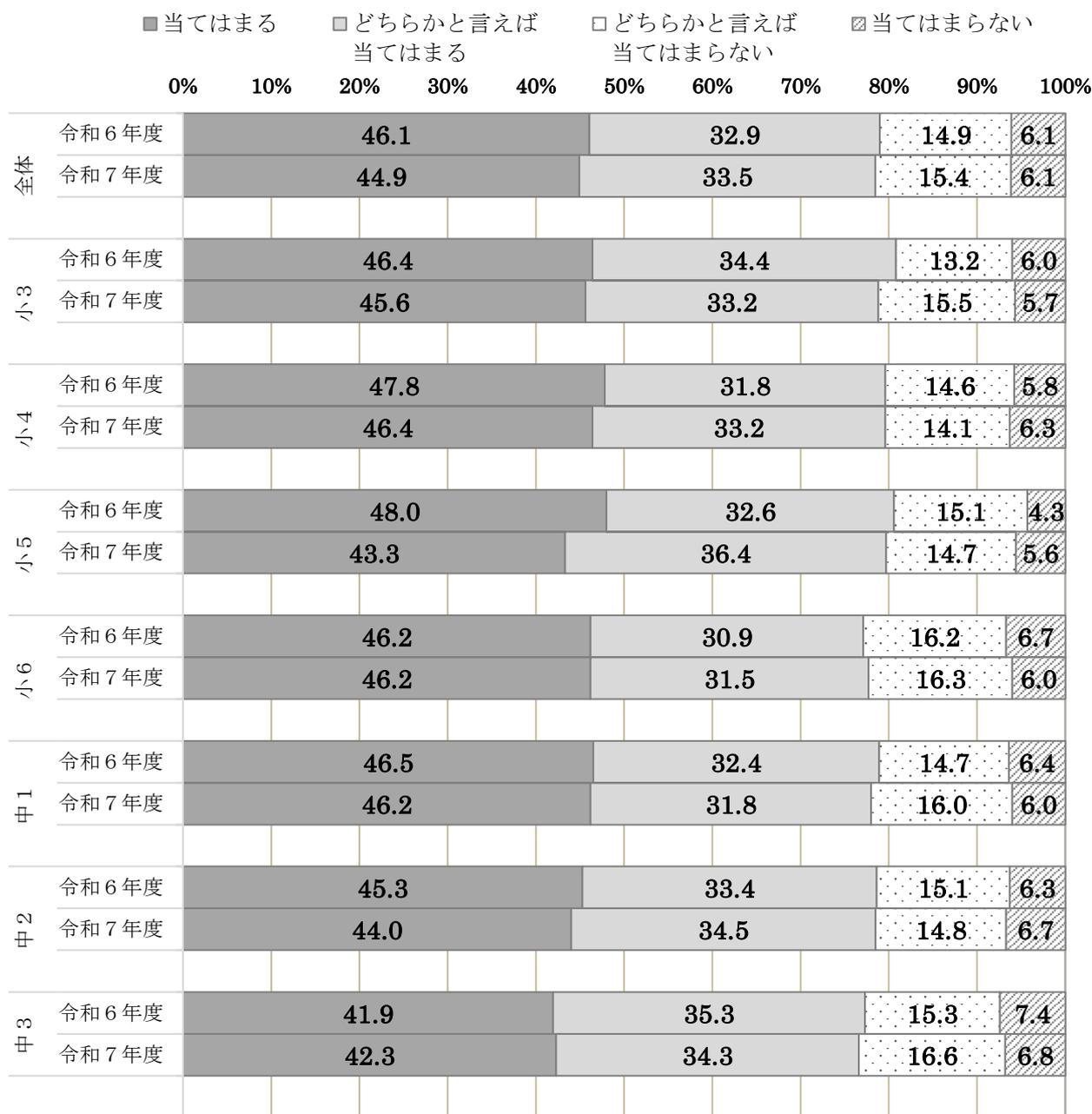
- 全体の肯定的な回答の割合は、92.4%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、7.6%（前年度比±0ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が1.0ポイント増加しました。

(8) 学校のきまりや、家の約束を守ることができる。



- 全体の肯定的な回答の割合は、92.0%（前年度比+0.1ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、8.0%（前年度比±0ポイント）でした。
- 昨年度に引き続き、全学年で肯定的な回答の割合が90%を超えており、全体的に高い水準を保っていました。

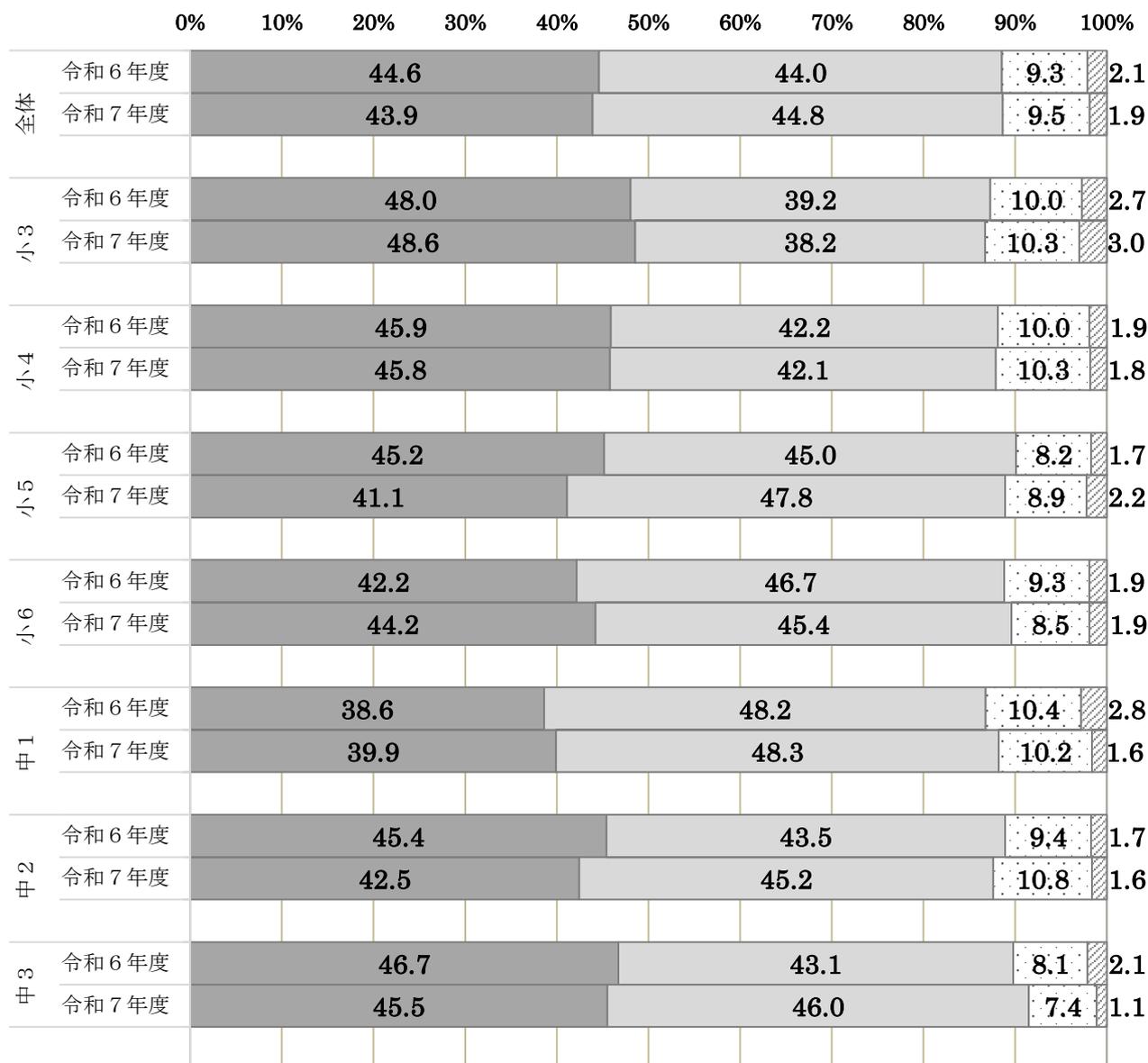
(9) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。



- 全体の肯定的な回答の割合は、78.4%（前年度比-0.6ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、21.5%（前年度比+0.5ポイント）でした。
- ほとんどの学年で肯定的な回答の割合が減少しました。

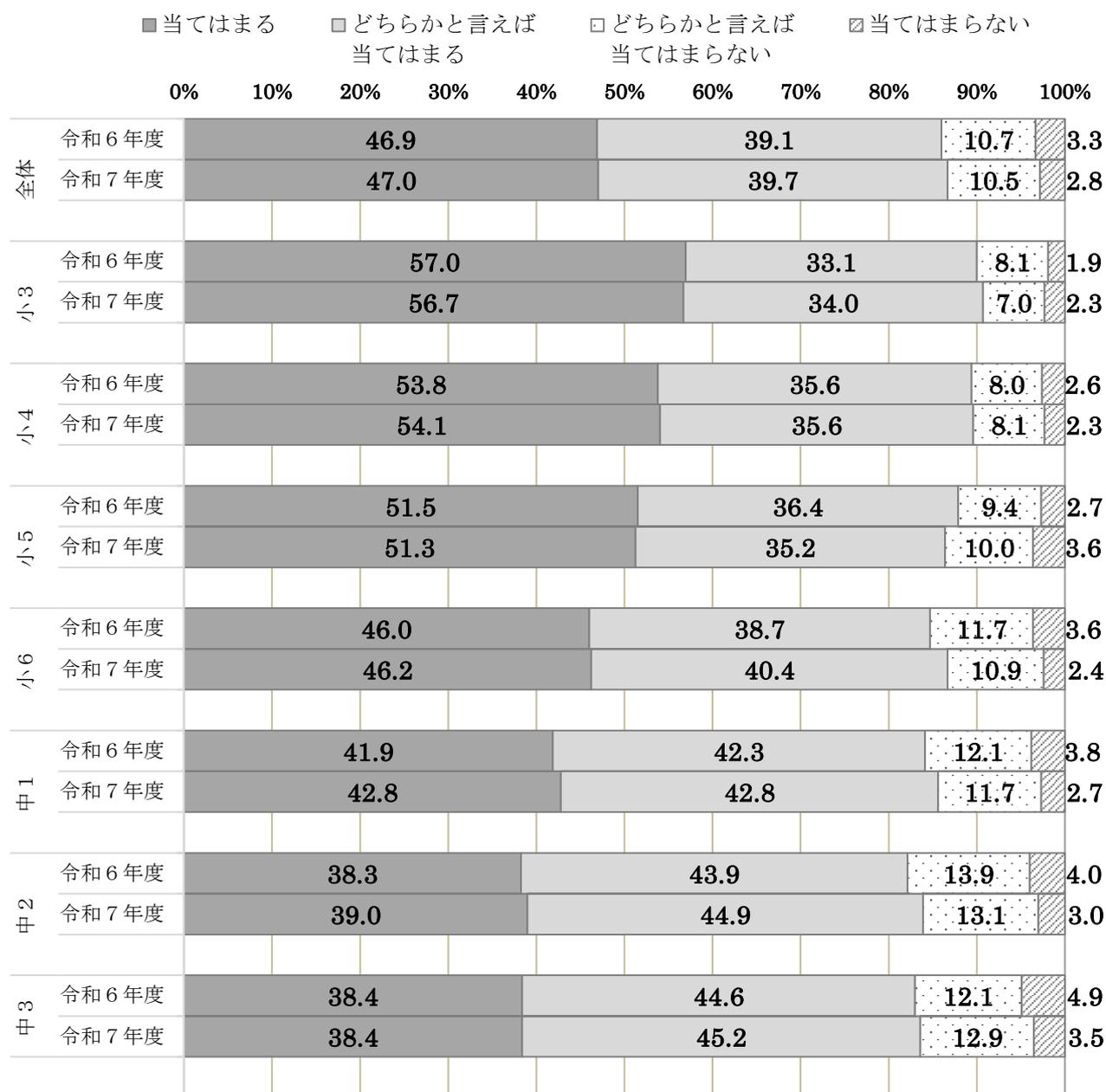
(10) 決められた時間を守ることができる。

当てはまる
 どちらかと言えば当てはまる
 どちらかと言えば当てはまらない
 当てはまらない



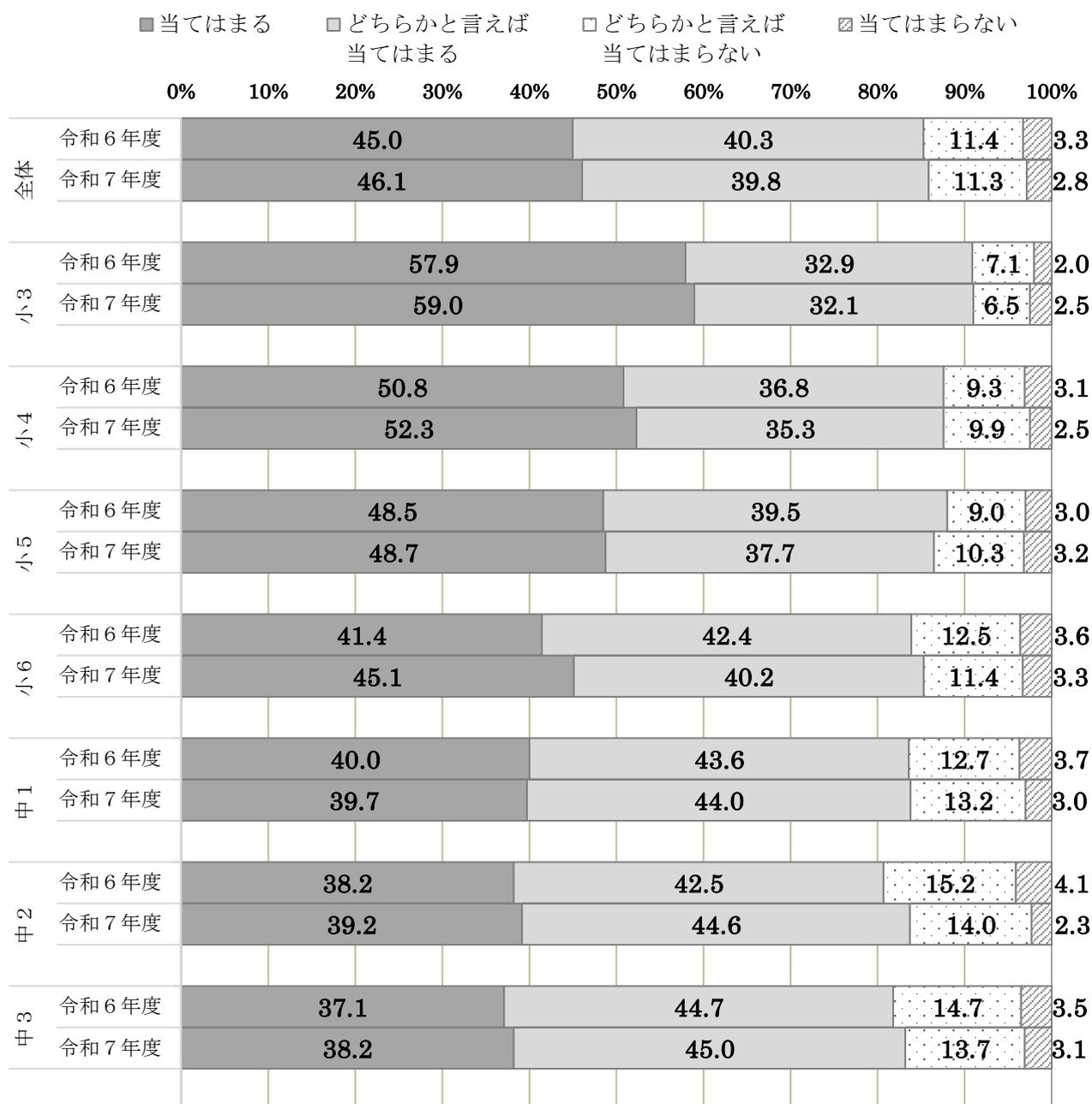
- 全体の肯定的な回答の割合は、88.7%（前年度比+0.1ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、11.4%（前年度比±0ポイント）でした。
- 肯定的な回答は全学年で増減がありつつも、同程度の水準を保っていました。

(11) めあてや目標をもって学習や運動に取り組んでいる。



- 全体の肯定的な回答の割合は、86.7%（前年度比+0.7ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、13.3%（前年度比-0.7ポイント）でした。
- 小学校6年生では、肯定的な回答の割合が1.9ポイント増加しました。

(12) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。

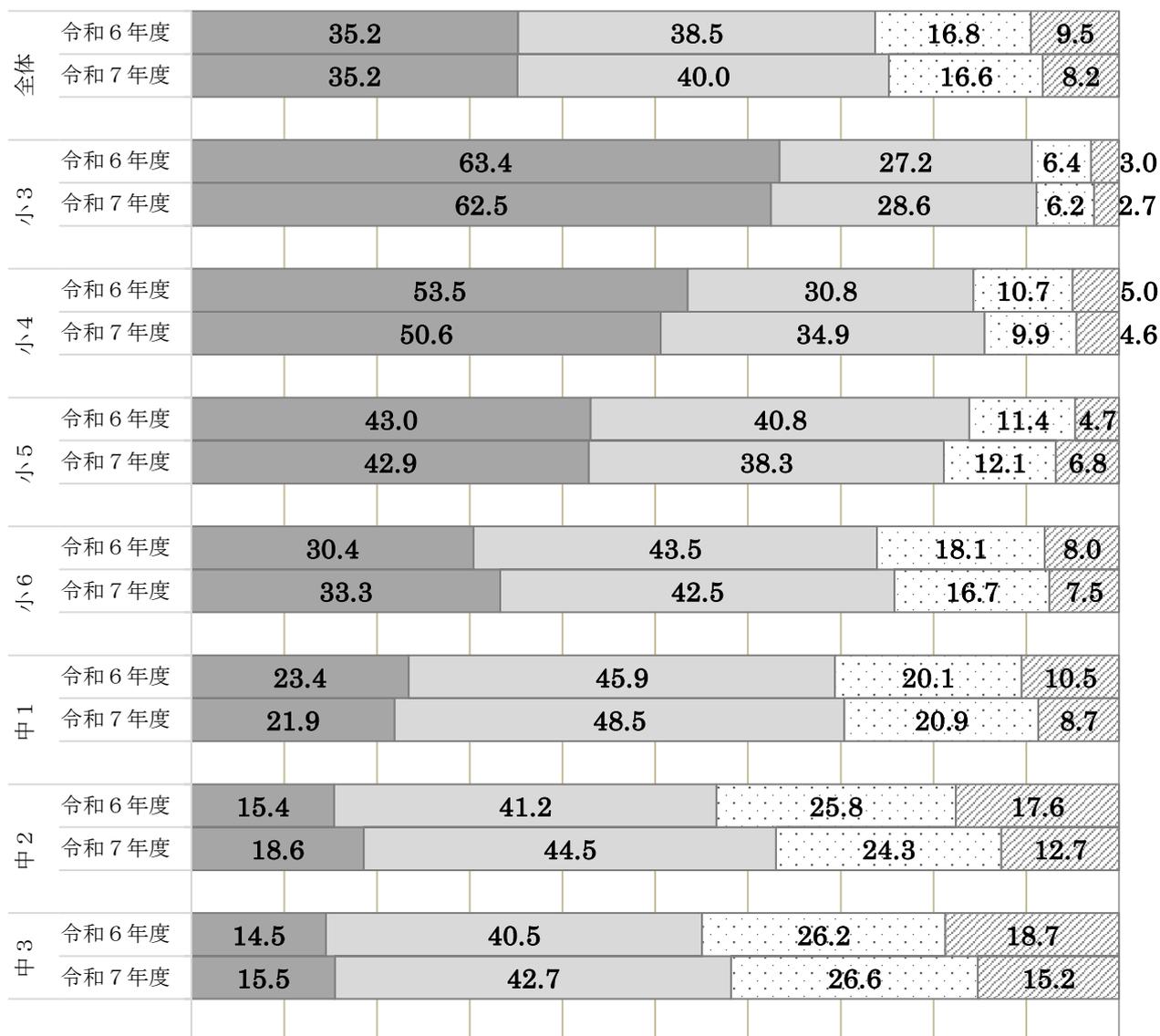


- 全体の肯定的な回答の割合は、85.9%（前年度比+0.6ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、14.1%（前年度比-0.6ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が3.1ポイント増加しました。

(13) 授業などを通して、草加について学ぶことは楽しい。

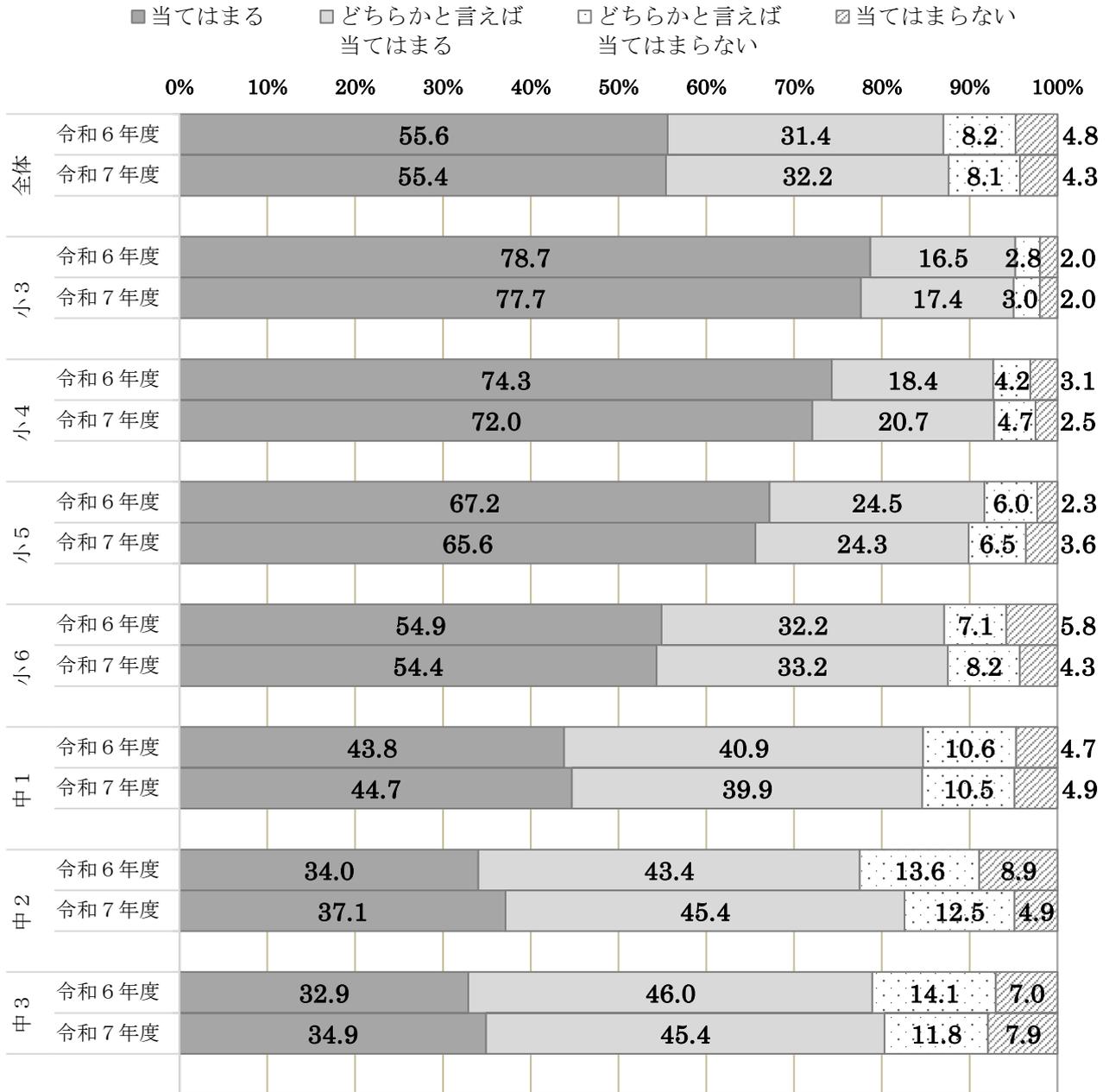
当てはまる
 どちらかと言えば当てはまる
 どちらかと言えば当てはまらない
 当てはまらない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- 全体の肯定的な回答の割合は、75.2%（前年度比+1.5ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、24.8%（前年度比-1.5ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が6.5ポイント増加しました。

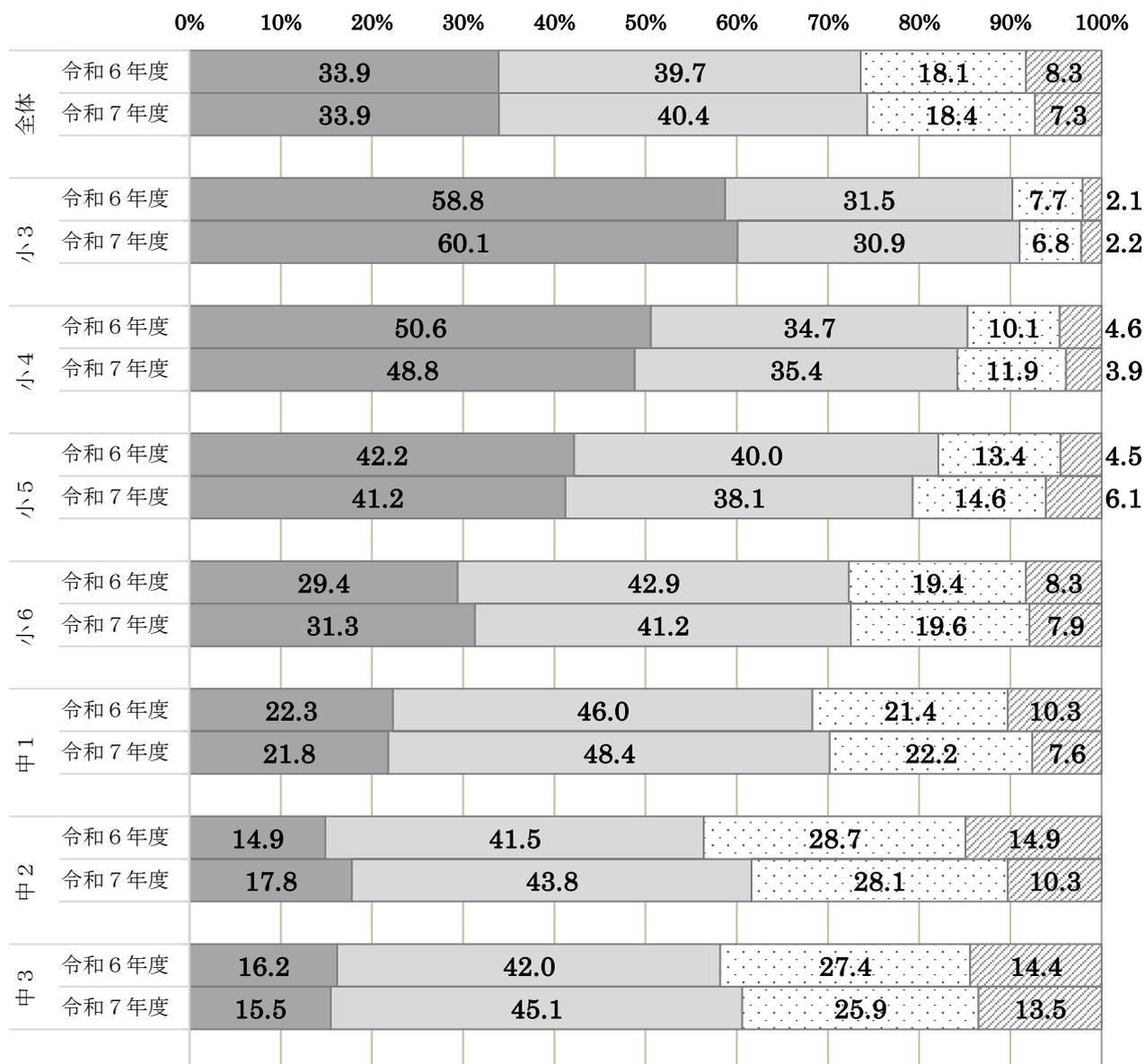
(14) 草加のまちが好きだ。



- 全体の肯定的な回答の割合は、87.6%（前年度比+0.6ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、12.4%（前年度比-0.6ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が5.1ポイント増加しました。

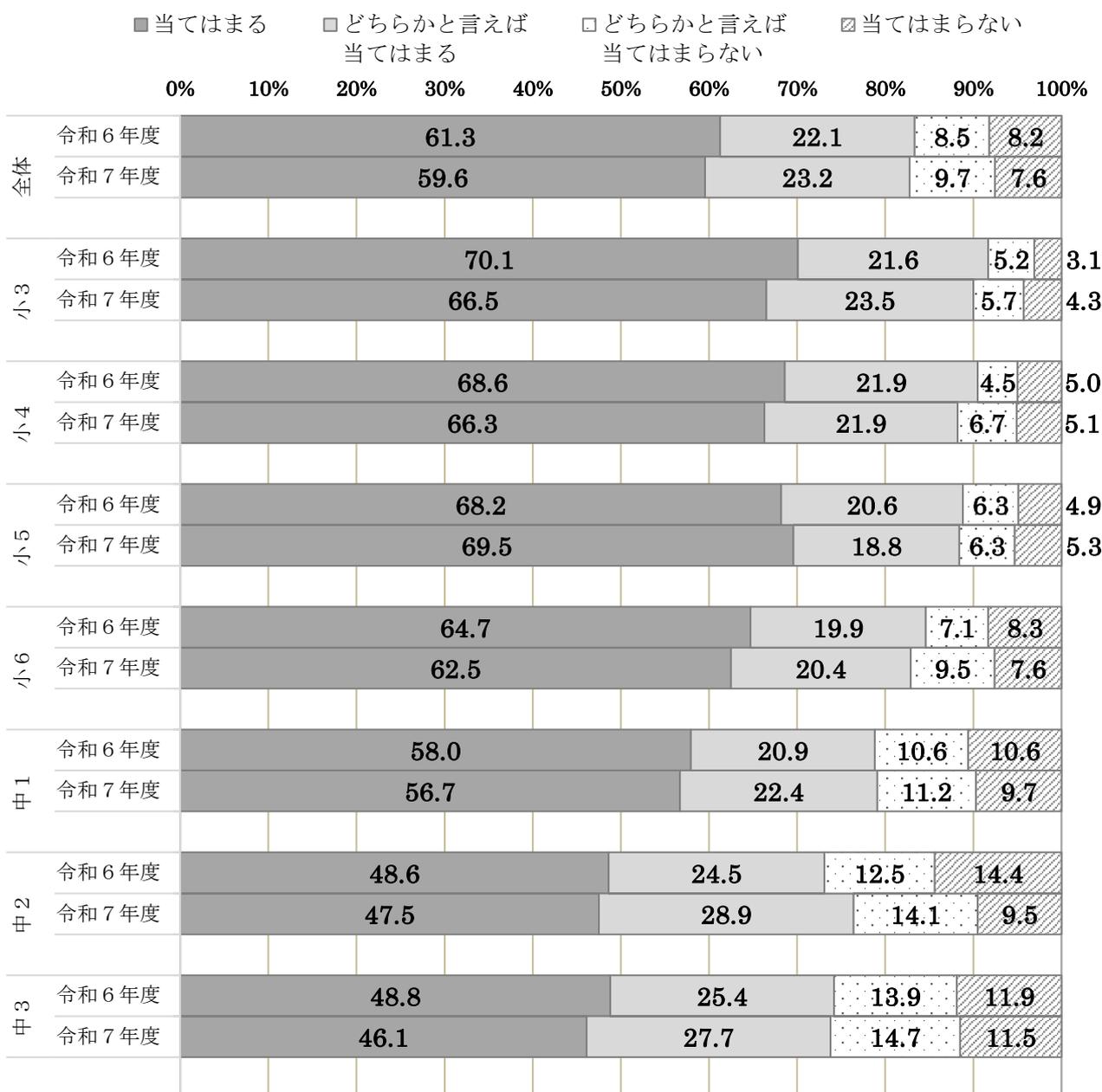
(15) 自分が住む地域や、草加の役に立つことをしてみたい。

■当てはまる □どちらかと言えば 当てはまる □どちらかと言えば 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、74.3%（前年度比+0.7ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、25.7%（前年度比-0.7ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が5.2ポイント増加しました。

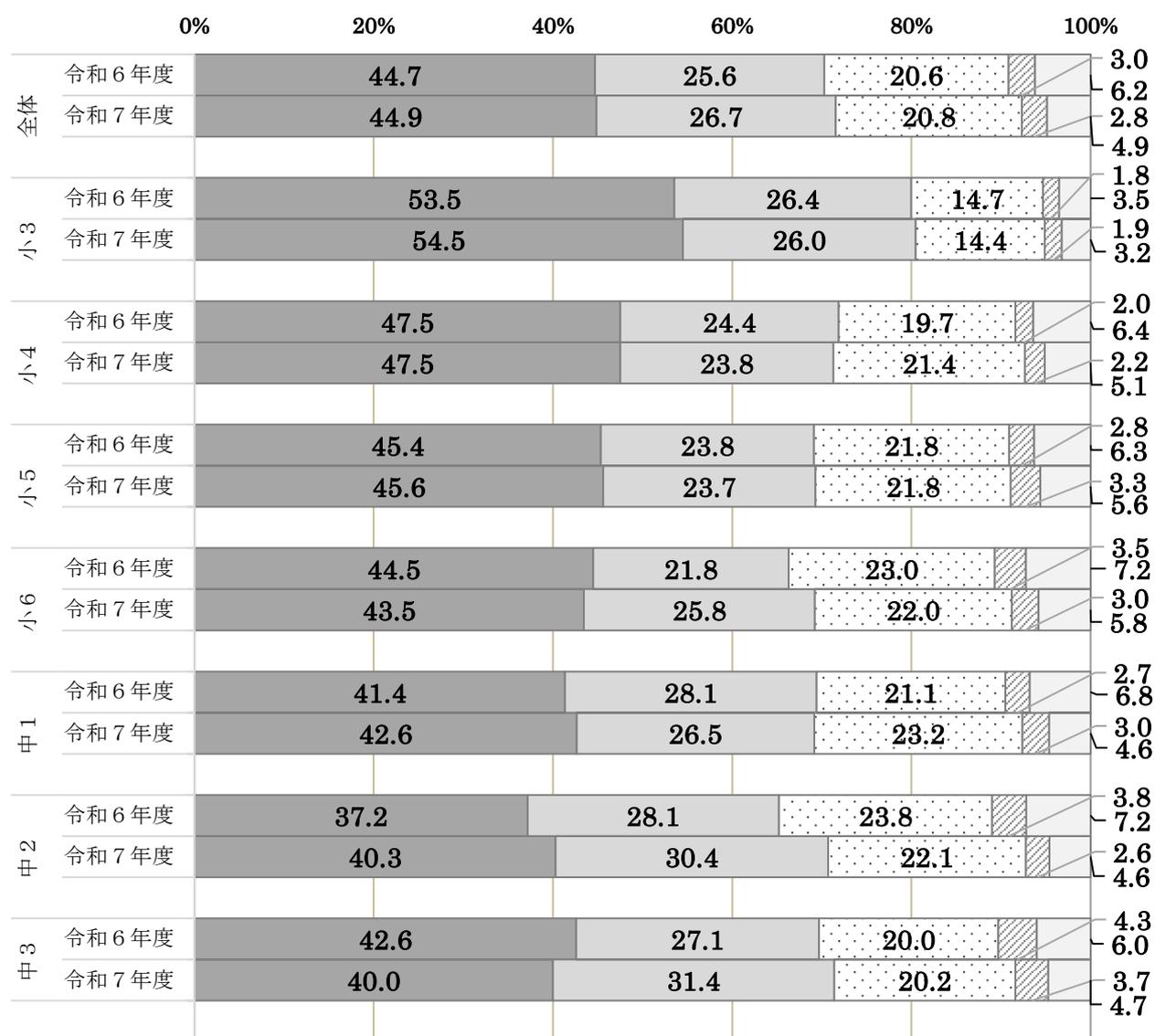
(16) なりたい職業や将来の夢がある。目標にする人がいる。



- 全体の肯定的な回答の割合は、82.8%（前年度比-0.6ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、17.3%（前年度比+0.6ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が3.3ポイント増加しました。

(17) 自分には、よいところ(長所)があると思う。

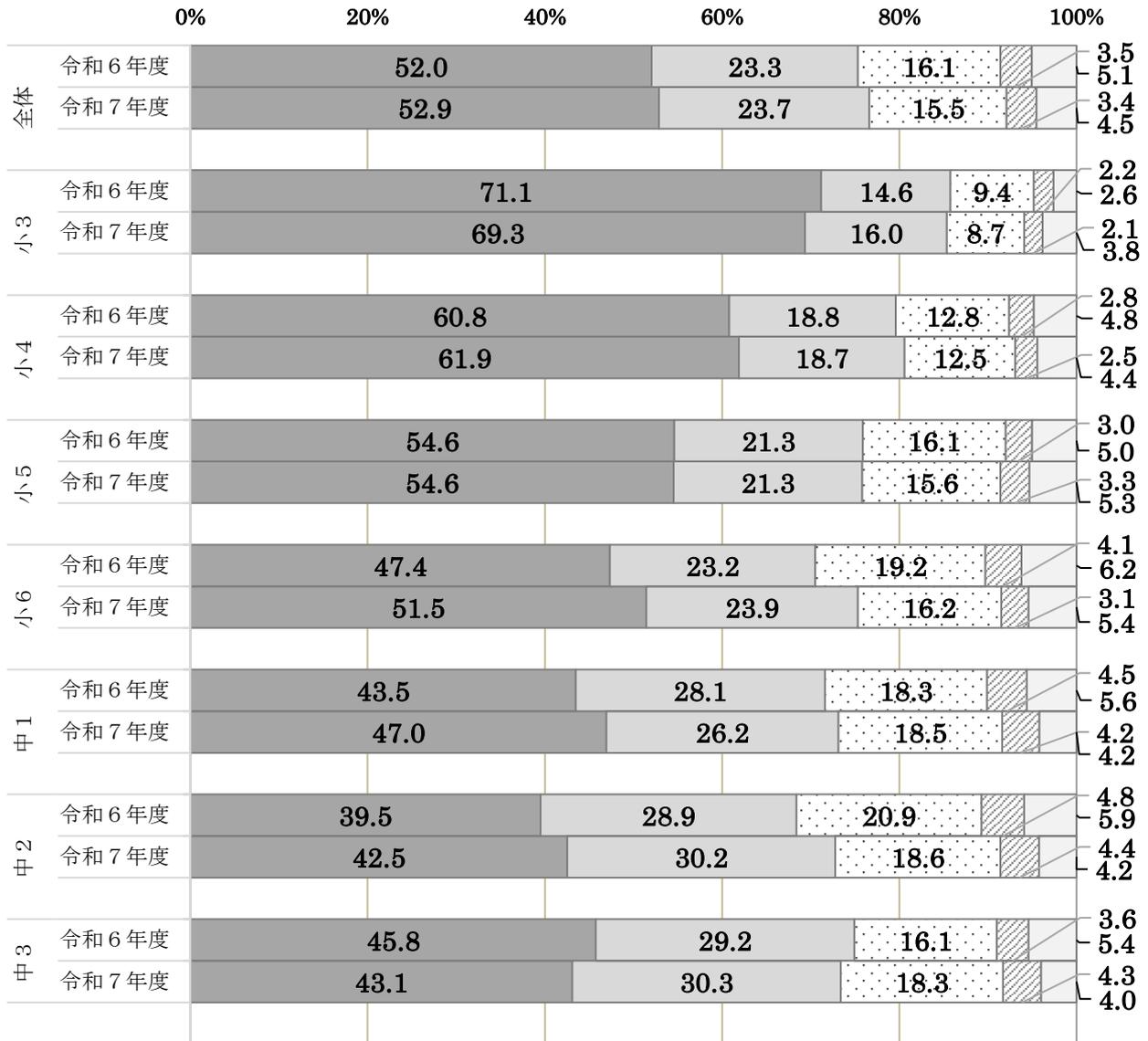
■当てはまる □どちらかと言えば □どちらとも言えない ▨どちらかと言えば当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、71.6%（前年度比+1.3ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、7.7%（前年度比-1.5ポイント）でした。
- 肯定的な回答の割合は、小学校6年生で3.0ポイント、中学校2年生で5.4ポイント増加しました。

(18) 自分のことを大切だと思う。

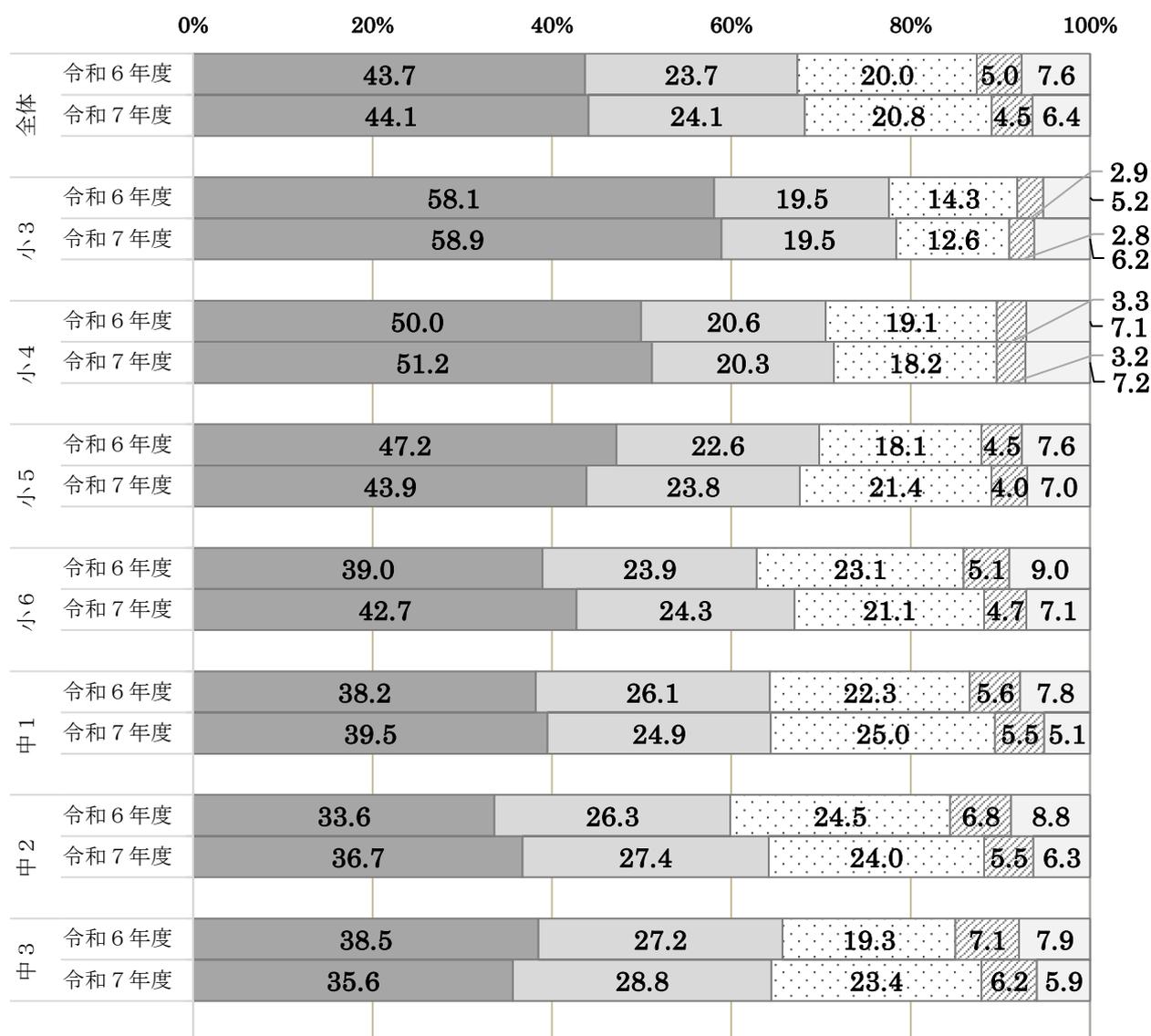
■当てはまる □どちらかと言えば □どちらとも言えない ▨どちらかと言えば □当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、76.6%（前年度比+1.3ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、7.9%（前年度比-0.7ポイント）でした。
- 肯定的な回答の割合は、小学校6年生で4.8ポイント、中学校2年生で4.3ポイント増加しました。

(19) 自分には好きなところがある。

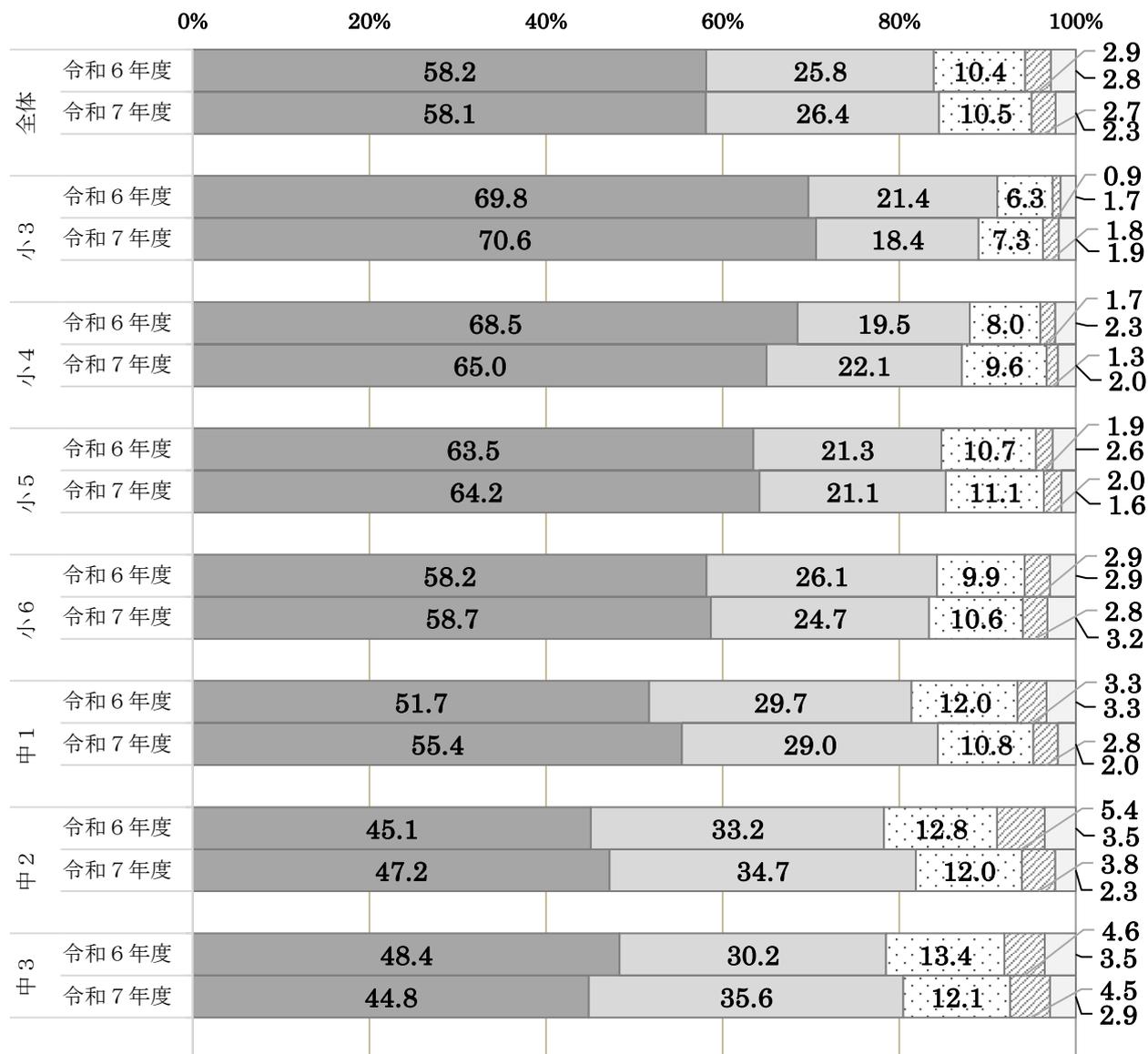
当てはまる
 どちらかと言えば 当てはまる
 どちらとも言えない
 どちらかと言えば 当てはまらない
 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、68.2%（前年度比+0.8ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、10.9%（前年度比-1.7ポイント）でした。
- 肯定的な回答の割合は、小学校6年生が4.1ポイント、中学校2年生が4.2ポイント増加しました。

(20) 難しいことでも、努力を続ければ、いつかできると思う。

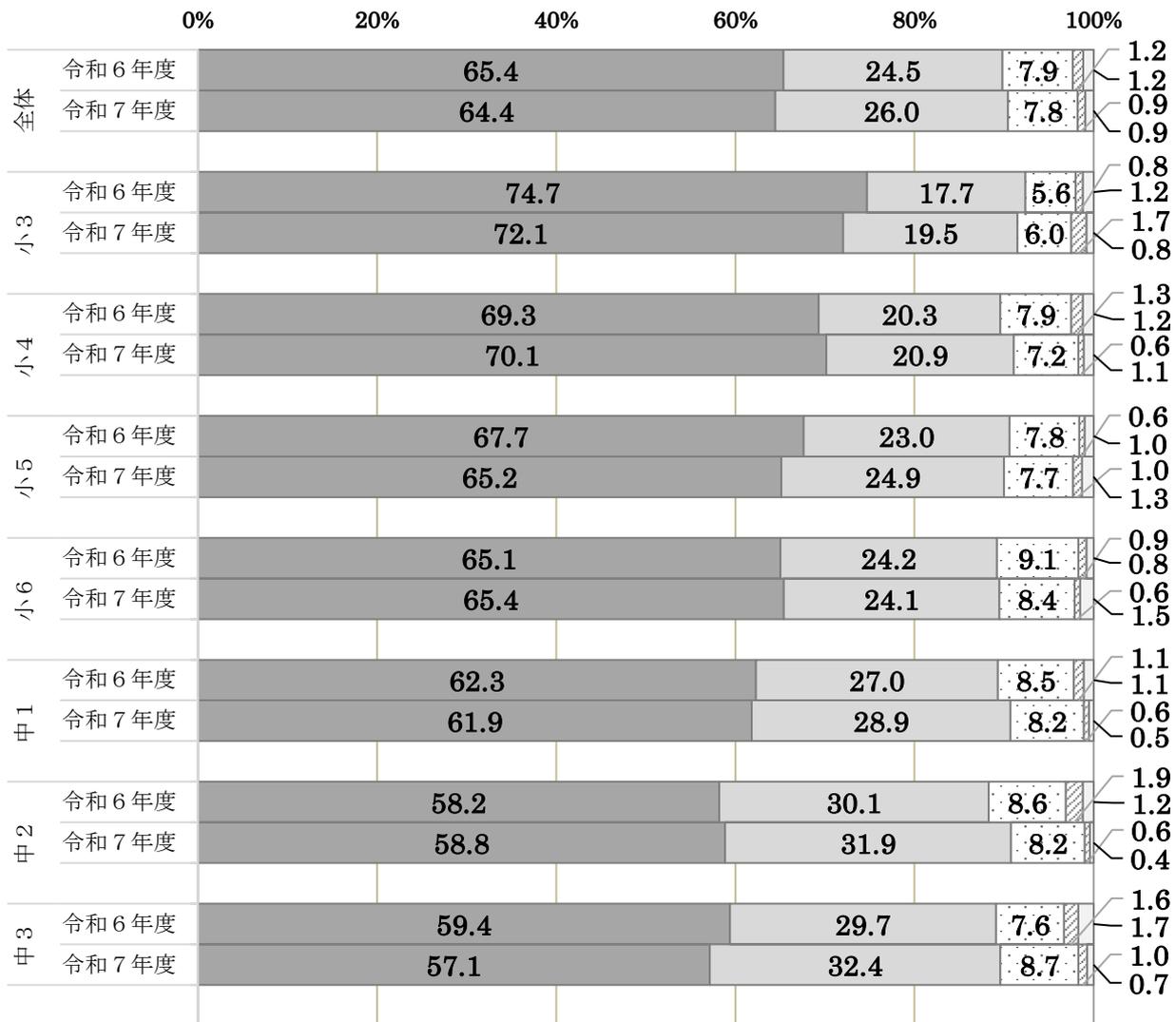
■当てはまる □どちらかと言えば □どちらとも言えない ▨どちらかと言えば当てはまらない □当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、84.5%（前年度比+0.5ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、5.0%（前年度比-0.7ポイント）でした。
- 肯定的な回答は全学年で増減がありつつも、同程度の水準を保っていました。

(21) 周りの人が喜ぶことをしたいと思う。

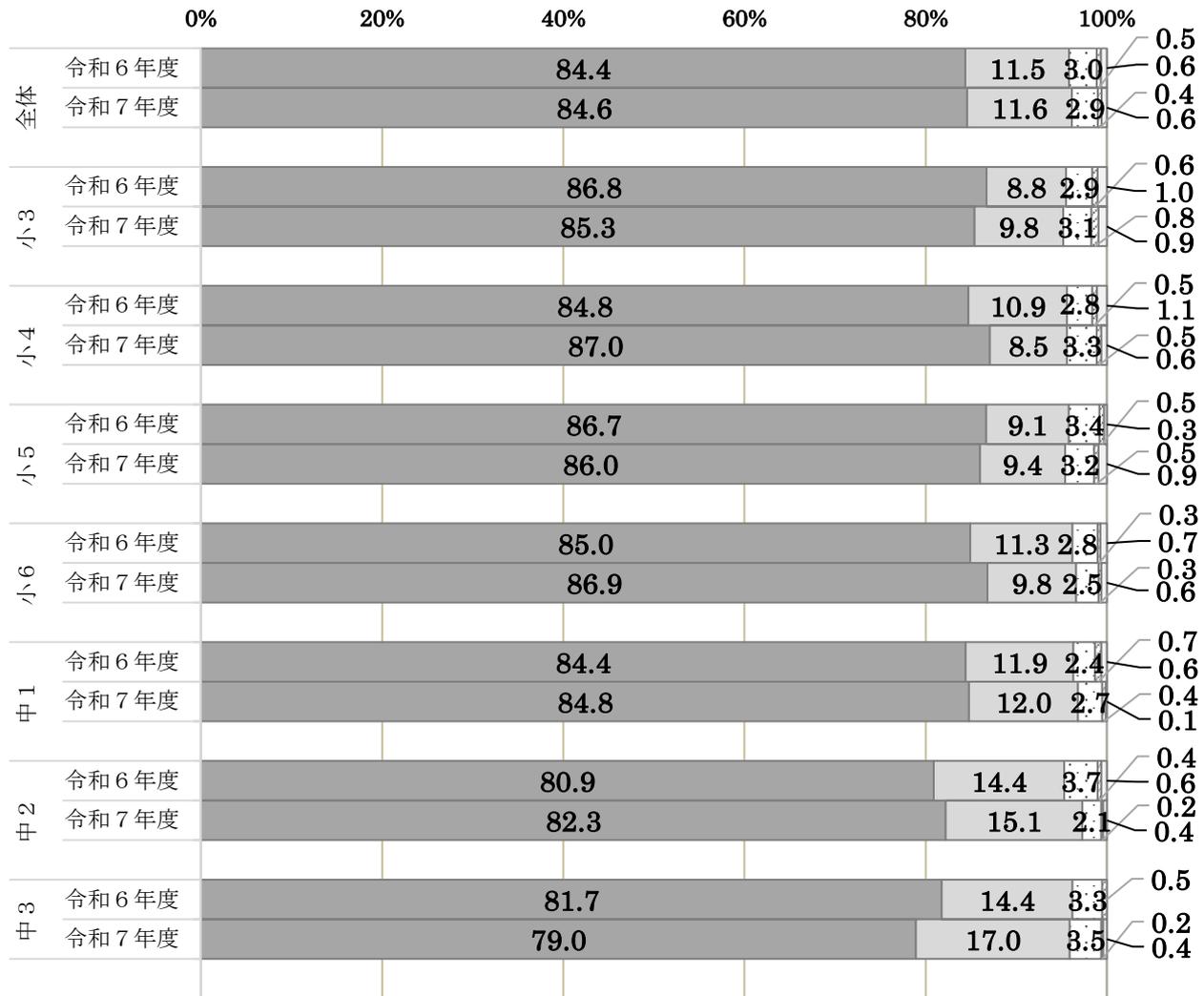
■当てはまる □どちらかと言えば □どちらとも言えない ▨どちらかと言えば □当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、90.4%（前年度比+0.5ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、1.8%（前年度比-0.6ポイント）でした。
- ほとんどの学年で、肯定的な回答の割合が90%を超えました。

(23) 他の人にもよいところがあると思う。

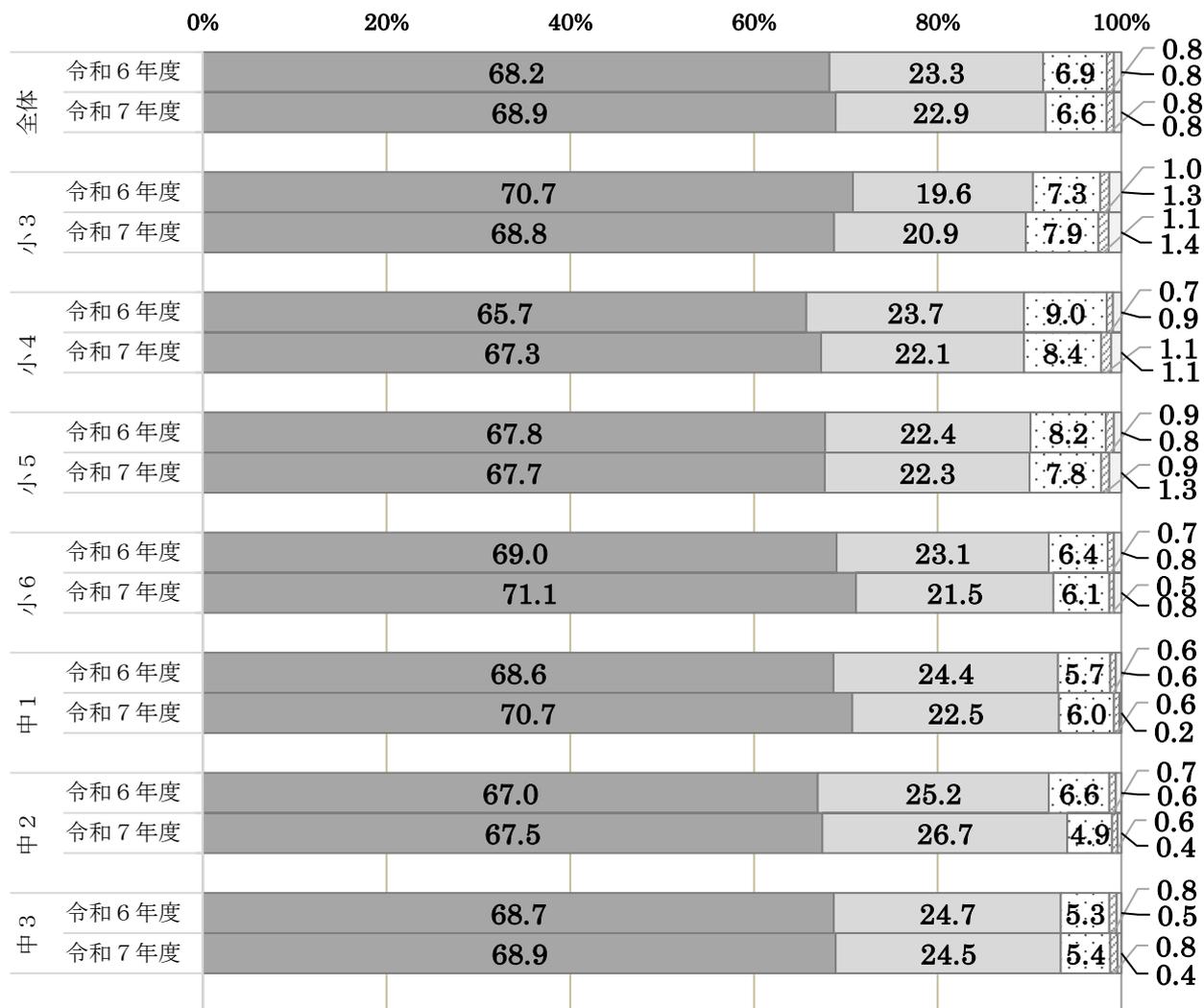
■当てはまる □どちらかと言えば 〇どちらとも言えない ▣どちらかと言えば 〇当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、96.2%（前年度比+0.3ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、1.0%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- ほとんどの学年で、「当てはまる」に回答した割合が80%を超えました。

(24) 自分とは違う考え方や性格を、受け入れることは大切であると思う。

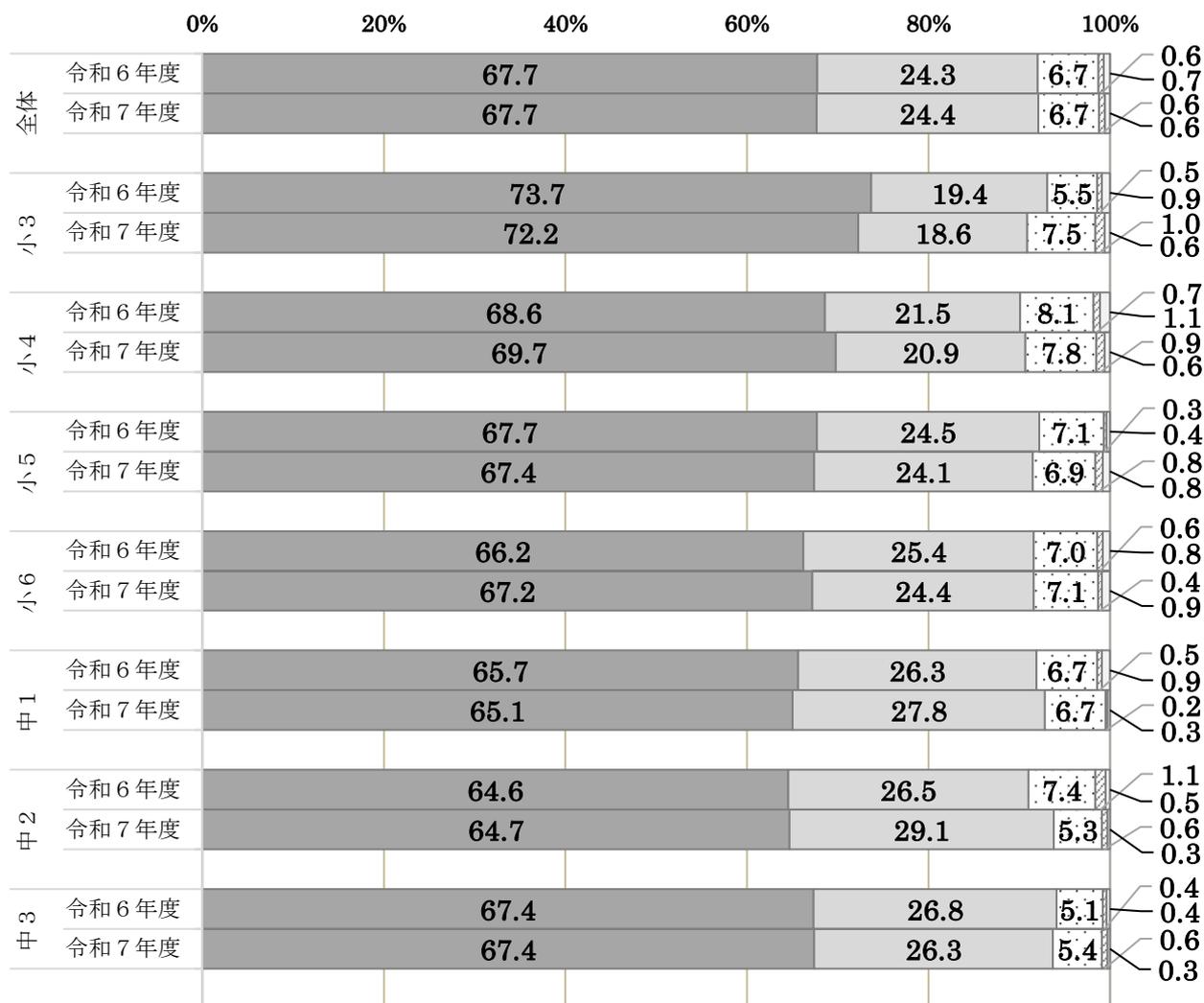
■ 当てはまる □ どちらかと言えば □ どちらとも言えない ▨ どちらかと言えば □ 当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、91.8%（前年度比+0.3ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、1.6%（前年度比±0ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が2.0ポイント増加しました。

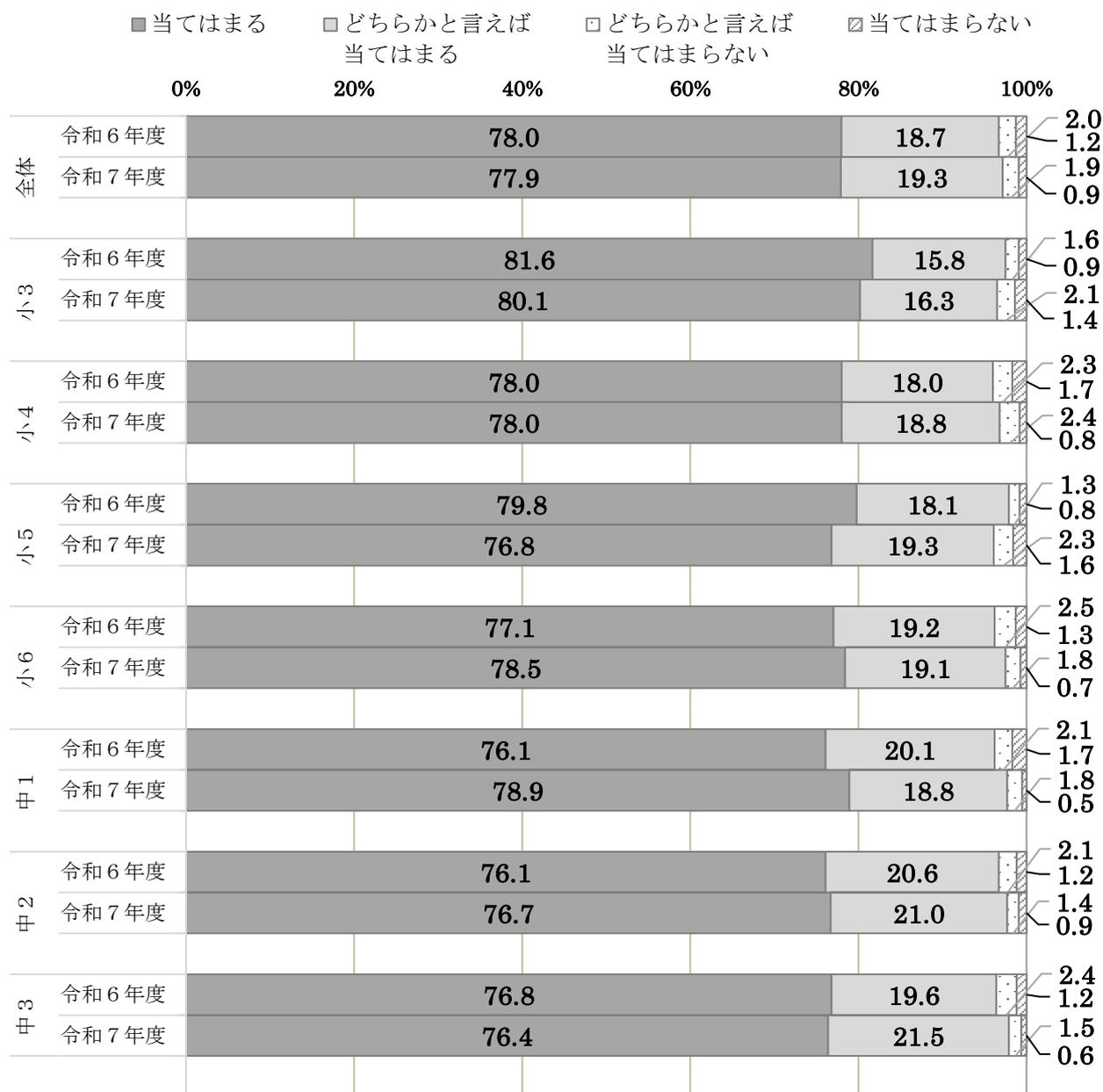
(25) 他の人のよさを大切にしている。

■当てはまる □どちらかと言えば □どちらとも言えない ▨どちらかと言えば □当てはまらない
 当てはまる 当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、92.1%（前年度比+0.1ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、1.2%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が2.7ポイント増加しました。

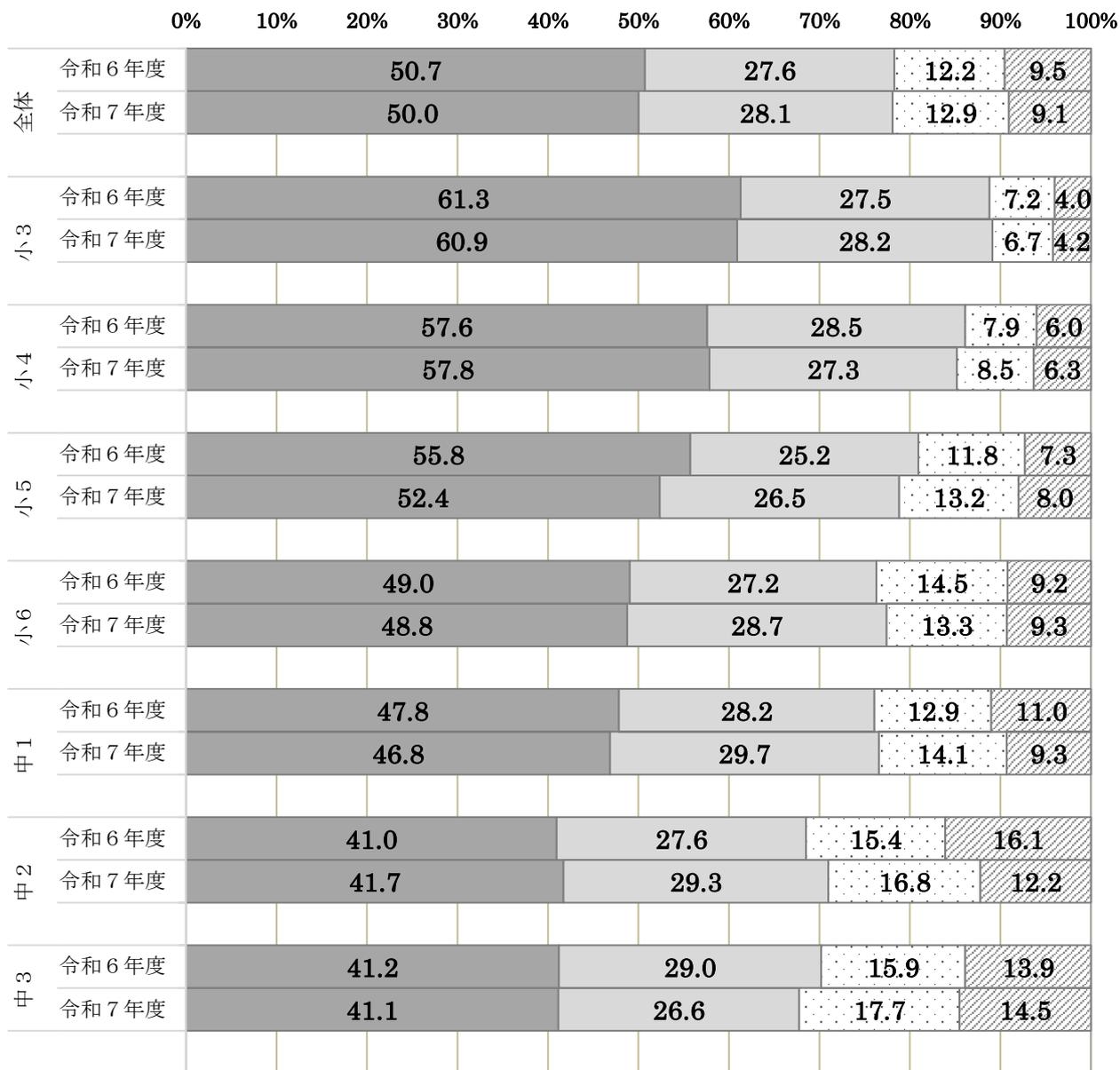
(26) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。



- 全体の肯定的な回答の割合は、97.2%（前年度比+0.5ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、2.8%（前年度比-0.4ポイント）でした。
- 全学年で、「当てはまる」に回答した割合が75%を超えました。

(28) 中学生（小学生）や園児と交流してみたい。

■当てはまる □どちらかと言えば 当てはまる □どちらかと言えば 当てはまらない ■当てはまらない



- 全体の肯定的な回答の割合は、78.1%（前年度比-0.2ポイント）でした。
- 全体の否定的な回答の割合は、22.0%（前年度比+0.3ポイント）でした。
- 中学校2年生では、肯定的な回答の割合が2.4ポイント増加しました。

